

新中地第387号

令和4年11月25日

中央区自治協議会

会長 佐藤 雅之 様

新潟市長 中原 八一

(担当 中央区地域課)

中央区 区ビジョンまちづくり計画素案（最終校）案について（意見聴取）

新潟市区自治協議会条例（平成18年条例第74号）第7条第1項第1号の規定により、  
下記事項について貴自治協議会に意見を求めます。

記

1. 中央区 区ビジョンまちづくり計画素案（最終校）案について

# 中央区

## 区ビジョンまちづくり計画

### 素案（最終校）案

#### 【注意事項】

- 掲載されている文章は、現時点における案となっています。
- 掲載されている図や写真は、内容についてのイメージをつかんでいただくための参考画像として掲載しています。また、グラフ等の数値については、本案作成時点の数値を掲載しています。

※今後、関係各所との協議やパブリックコメントの結果などを踏まえて修正・変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

令和4年（2022年）11月18日案



## 目次

### 内容

目次.....	1
はじめに .....	2
計画の構成 .....	2
中央区 区ビジョン基本方針.....	2
区の将来像 .....	2
目指す区のすがた.....	2
各区のすがた.....	2
第1章 中央区の概要 .....	2
第2章 中央区 区ビジョンまちづくり計画体系図 .....	2
第3章 中央区の現状、特性と課題／まちづくりの方針.....	2
I. 賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち .....	2
II. 共につながり安心して暮らせるまち .....	2
III. 水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち .....	2
IV. 歴史と文化を受け継ぎ発展するまち .....	2

## はじめに

中央区区ビジョンまちづくり計画は、新潟市総合計画の一部である区ビジョン基本方針の実現に向けた取組と、実施計画に相当する具体的な取組を示した中央区のまちづくり計画です。

計画期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間とします。

ただし、実施計画は、取組の実施状況や社会・経済状況の変化などに対応するため、4年ごとに策定し進捗管理を行います。

## 計画の構成

### 【新潟市総合計画とは】

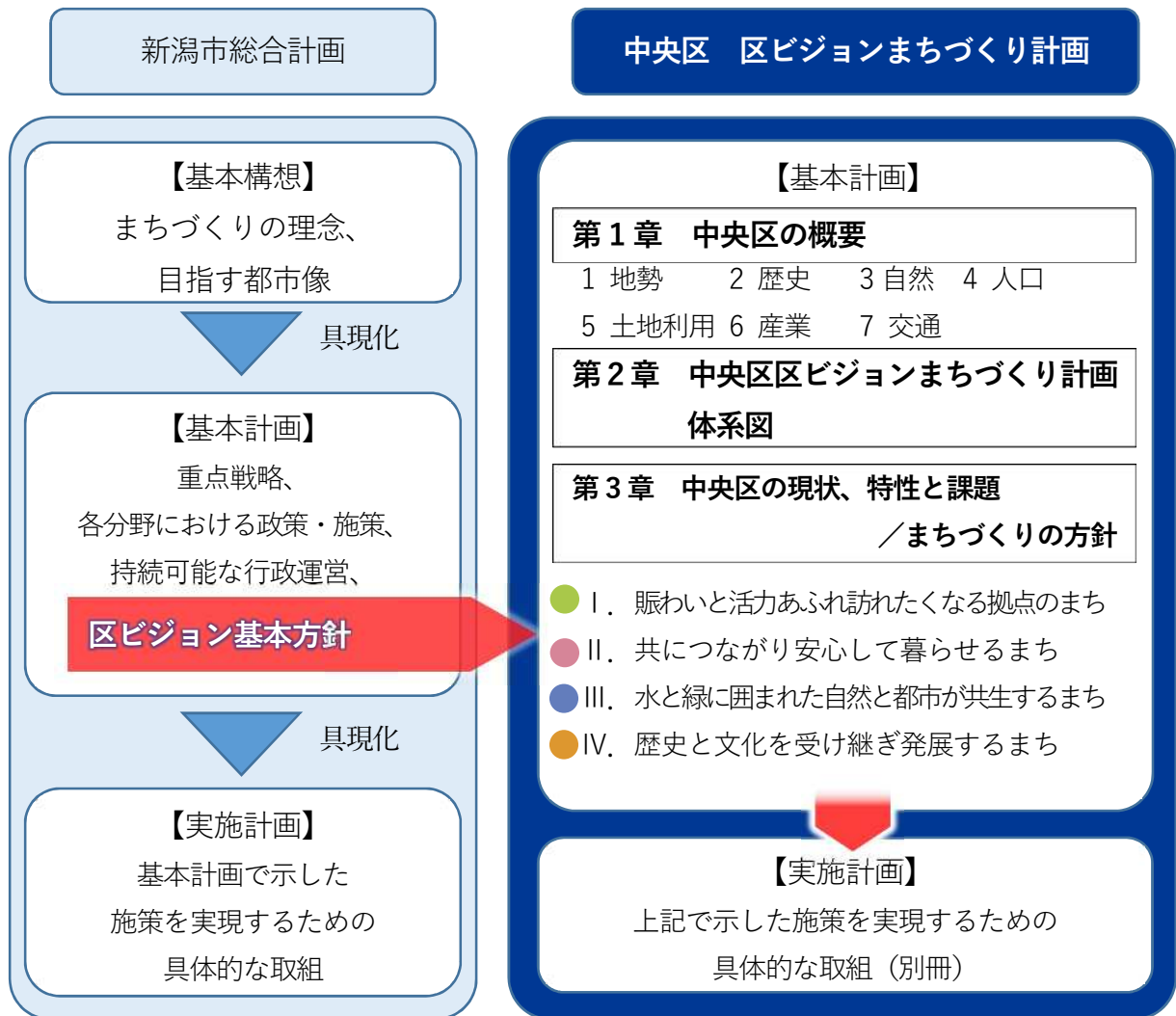
- 新潟市が目指すまちづくりのあり方を示すもので「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。区ビジョンまちづくり計画の上位計画です。
- 「基本構想」「基本計画」は令和5年度から令和13年度までの8年間を計画期間とし、新潟市の目指すまちづくりの方針と、その実現に向けた政策と施策について記載するものです。また、施策の実現に向けた具体的な取組を掲載する「実施計画」は4年ごとに見直しを行います。

### 【区ビジョン基本方針とは】

- 中央区の将来像や目指す方向などを示すものです。
- 新潟市次期総合計画の「基本計画」の一部として策定されます。
- 中央区自治協議会で検討・審議をしていただき、議決を経て策定しました。

### 【区ビジョンまちづくり計画とは】

- 「基本計画」と「実施計画」で構成され、うち「基本計画」は、区ビジョン基本方針を踏まえ、より具体的な取組の方向性を示すものです。
- 計画期間は、令和5年度から令和13年度までの8年間となります。  
構成は、「Ⅰ 中央区の概要」「Ⅱ 中央区区ビジョンまちづくり計画体系図」「Ⅲ 中央区の現状、特性と課題／まちづくりの方針」となっています。
- 「実施計画（別冊）」は、4年ごとに策定し、進捗管理を行っていきます。



### 【SDGs(持続可能な開発目標) とは】

○2015年9月開催の「国連持続可能な開発サミット」で採択された、よりよい未来をめざすための2030年までの世界共通の目標「Sustainable Development Goals」の略称です。



○新潟市総合計画の基本構想に掲げた「持続可能なまちづくり」という方向性は、SDGsにおける持続可能な開発（将来世代のニーズに応える能力を損ねることなく、現代の世代のニーズを満たす開発）の考え方とまさに一致しています。

○新潟市総合計画においても「経済」「社会」「環境」の3側面の調和など、SDGsの基本的な考え方を意識して、それぞれの政策・施策を推進することとしています。

○全ての政策分野及び行財政運営において、市民・民間事業者・国・県・周辺市町村など多様な主体とのパートナーシップを活かした施策推進を重視していきます。

## 中央区 区ビジョン基本方針

<新潟市総合計画より抜粋>

### 区の将来像

にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす  
活気あふれる拠点のまち

### 目指す区のすがた

#### I. 賑わいと活力あふれ訪れたくなる拠点のまち

- 様々な高次都市機能が集積した都心を有する区として、これまでの歴史の中で蓄積したものを集積し、各地域の成り立ちや特色を活かしながら、人・モノ・情報が活発に行き交い、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネスなどで訪れる人にとって魅力的で、賑わいあふれるまちを目指します。
- 美しい景観形成に努めるとともに歩きやすく自転車や公共交通など多様な手段で移動しやすい環境の整備を進め、まちなかの活性化に向けた回遊性向上を図ることにより、子どもからお年寄りまで誰もが出かけたくなる利便性の高い、活力に満ちたまちを目指します。

#### II. 共につながり安心して暮らせるまち

- 少子高齢化の進行など、社会情勢が大きく変化する中、区民や区内で活動する団体同士のつながりによる持続可能な地域コミュニティ活動を支援し、年齢や性別、障がいのあるなしなどにかかわらず、互いに支えあい、助けあい、誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指します。
- 生活様式やニーズが多様化する中で、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進め、家庭・地域・学校が連携を深めることで、地域全体で子育てを支援するまちを目指します。

- 自然災害や都市型災害などの発生時に、一人一人が適切な判断と行動をとれるよう意識の向上を図るとともに、身近な地域の関係づくりを進め、誰もが安心して安全に暮らせるまちを目指します。

### Ⅲ. 水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち

- 都心部を流れる信濃川などの水辺空間や身近な緑を区民や事業者などとともに守り育てることで、一人一人が自然環境への愛着と誇りをもち、自然と共生する美しくうらおいのあるまちを目指します。
- 市街地に多くの自然を残す鳥屋野潟周辺や海岸沿いの松林などの豊かな自然を学びや体験、やすらぎの場として保全しながら利活用を図り、自然の豊かさを感じられる憩いのあるまちを目指します。

### Ⅳ. 歴史と文化を受け継ぎ発展するまち

- 開港5港の一つとして古くから栄えた風情あふれるみなとまちの歴史・文化を受け継ぐとともに、食文化の魅力発信や新たな産業の創出・育成に取り組むことにより、様々な文化が融合した、未来につながるまちを目指します。
- 新潟まつりをはじめ、各地域に伝わる歴史・文化に多様な世代が親しむことができる環境をつくることで、文化の継承やまちなみの保存に対する意識を高め、住む人々が地域を愛し、地域を誇れるまちを目指します。



## 各区のすがた

項目		新潟市全体	中央区	全市に占める割合	北区	東区	
人口	総数	令和2年人口(人)	789,275	180,345	22.8%	72,804	134,446
		令和27年推計人口(人)	631,510	160,995	25.5%	55,285	100,674
	15歳未満	令和2年人口(人) 割合(%)	91,224(11.6)	19,599(10.9)	21.5%	8,195(11.3)	15,867(11.8)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	60,835(9.6)	16,084(10.0)	26.4%	5,692(10.3)	9,988(9.9)
	15～64歳	令和2年人口(人) 割合(%)	463,605(58.7)	112,981(62.6)	24.4%	41,301(56.7)	79,308(59.0)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	317,625(50.3)	87,623(54.4)	27.6%	28,700(51.9)	52,253(51.9)
	65歳以上	令和2年人口(人) 割合(%)	234,446(29.7)	47,765(26.5)	20.4%	23,308(32.0)	39,271(29.2)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	253,050(40.1)	57,288(35.6)	22.6%	20,893(37.8)	38,433(38.2)
		令和2年単身高齢者数(人)	35,041	10,409	29.7%	2,644	6,643
		65歳以上に占める単身高齢者数の割合(%)	14.9	21.8	-	11.3	16.9
	昼間人口	昼間人口	799,446	232,902	29.1%	70,513	124,337
		昼夜間人口比率	101.3	129.1	-	96.9	92.5
	人口動態	年間増減(人)	-5,024	-552	-	-779	-1,129
		うち自然動態(人)	-4,310	-737	-	-509	-632
うち社会動態(人)		-714	185	-	-270	-497	
世帯	世帯(世帯)	331,272	90,860	27.4%	27,418	57,491	
	1世帯当たりの人員(人)	2.4	2.0	-	2.7	2.3	
	核家族の割合(%)	53.6	45.2	-	56.6	56.3	
	単独世帯の割合(%)	35.1	48.6	-	27.5	33.8	
	3世代世帯の割合(%)	7.1	3.0	-	10.5	5.9	
面積	面積(km <sup>2</sup> )	726.28	37.75	5.2%	107.61	38.63	
農業	農家戸数(戸)	9,675	174	1.8%	1,414	282	
	期間的農業従事者数(人)	10,379	197	1.9%	1,465	303	
	うち65歳以上の割合(%)	67.8	59.4	-	68.6	62.7	
	経営耕地面積(ha)	25,653	393	1.5%	3,897	699	
工業	事業所数(所)	949	100	10.5%	156	176	
	従業者数(人)	37,478	1,656	4.4%	6,945	8,725	
	製造品出荷額等(億円)	11,469	244	2.1%	3,405	2,962	
商業	事業所数(所)	7,985	2,831	35.5%	542	1,138	
	従業者数(人)	68,805	23,382	34.0%	4,292	11,339	
	年間商品販売額(億円)	32,319	13,394	41.4%	1,408	5,265	

(出典)

人口：国勢調査（R2）、推計値（新潟市全体）は国勢調査（R2）および人口動態統計特殊報告（H25～H29）から算出した新潟市独自推計値

推計値（各区）は新潟市全体の推計人口を、新潟市独自推計である「各区将来推計人口（H30）」の男女別5歳階級別の構成比から算出したもの

昼間人口：国勢調査（R2）

人口動態：新潟県人口移動調査（R3）世帯：国勢調査（R2）

【自治協議会用】中央区区ビジョンまちづくり計画素案（最終校）案

令和4（2022）年11月18日

江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	項目	
67,972	75,069	43,437	160,656	54,546	令和2年人口(人)	総数
51,875	55,965	30,282	140,380	36,054	令和27年推計人口(人)	
8,722(12.8)	9,080(12.1)	4,926(11.3)	19,178(11.9)	5,657(10.4)	令和2年人口(人) 割合(%)	15歳未満
4,521(8.7)	5,548(9.9)	2,594(8.6)	15,115(10.8)	2,898(8.0)	令和27年推計人口(人) 割合(%)	
38,653(56.9)	41,904(55.8)	24,761(57.0)	94,898(59.1)	29,799(54.6)	令和2年人口(人) 割合(%)	15～64歳
25,469(49.1)	28,772(51.4)	13,879(45.8)	77,888(55.5)	16,035(44.5)	令和27年推計人口(人) 割合(%)	
20,597(30.3)	24,085(32.1)	13,750(31.7)	46,580(29.0)	19,090(35.0)	令和2年人口(人) 割合(%)	65歳以上
21,885(42.2)	21,645(38.7)	13,809(45.6)	47,377(33.7)	17,121(47.5)	令和27年推計人口(人) 割合(%)	
2,431	2,987	1,255	6,735	1,937	令和2年単身高齢者数(人)	
11.8	12.4	9.1	14.5	10.1	65歳以上に占める 単身高齢者数の割合(%)	
67,440	64,612	42,089	146,281	51,272	昼間人口	昼間人口
99.2	86.1	96.9	91.1	94.0	昼夜間人口比率	
-131	-547	-562	-604	-720	年間増減(人)	人口動態
-319	-500	-373	-722	-518	うち自然動態(人)	
188	-47	-189	118	-202	うち社会動態(人)	
24,891	28,003	14,922	69,006	18,681	世帯(世帯)	世帯
2.7	2.7	2.9	2.3	2.9	1世帯当たりの人興(人)	
61.9	60.1	56.9	53.8	56.5	核家族の割合(%)	
23.5	24.1	21.4	36.7	20.7	単独世帯の割合(%)	
9.6	10.2	14.9	5.6	16.0	3世代世帯の割合(%)	
75.42	95.38	100.91	94	176.57	面積(km <sup>2</sup> )	面積
1,319	1,192	1,828	1,170	2,296	農家戸数(戸)	農業
1,403	1,129	2,261	1,504	2,117	期間的農業従事者数(人)	
70.2	70.9	64.4	61.0	74.1	うち65歳以上の割合(%)	
2,824	3,052	4,686	3,517	6,585	経営耕地面積(ha)	
111	76	124	68	138	事業所数(所)	工業
6,058	2,400	5,803	1,487	4,404	従業者数(人)	
1,405	567	1,692	339	854	製造品出荷額等(億円)	
743	604	442	1,154	531	事業所数(所)	商業
6,576	4,606	2,925	12,519	3,166	従業者数(人)	
2,860	1,068	818	6,826	680	年間商品販売額(億円)	

面積：全国都道府県市区町村別面積調（R4.1）

農・工・商業：2020 農林業センサス、工業統計調査（R2）、経済センサス（R2）

（※1）推計値（新潟市全体）と推計値（各区）は、基準としているデータが異なるため、  
区別、年齢別の区別人口の合計値は新潟市全体の年齢別人口と一致しない

## 第1章 中央区の概要

### 1 地勢

○中央区は、新潟市の放射状に伸びる交通軸の要に位置し、北は日本海に開け中央には信濃川、東に栗ノ木川、西に関屋分水路、南に鳥屋野潟、さらに海岸線の白砂青松という水と緑に囲まれた地域です。



○区の面積は新潟市の全面積（726.28 km<sup>2</sup>）の約5%を占める37.75 km<sup>2</sup>で、8区の中で一番小さくなっています。

○地勢はおおむね平坦ですが、鳥屋野潟周辺をはじめ、海拔ゼロメートル以下の地域もあり、また、海岸部に連なる砂丘がわずかに高台をなしています。

○区内では土地の高度利用が進み、様々な都市機能が集積しています。一方で、国の重要文化財である萬代橋や、みなとまちの歴史的建造物など、伝統的文化を感じることのできるまちなみも存在しています。



上空より区内を望む



重要文化財萬代橋

### 2 歴史

○1622～44（寛永年間）年

海岸砂丘部及び亀田郷の内陸砂丘部と自然堤防に次々と村ができ、現在の村の原型が出そろいました。

○1655（明暦元）年

新潟町が白山・寄居島へ移転し、現在の町割りの原型となり、この時期に西回り航路が整備されました。

○1684（貞享元）年

沼垂町が阿賀野川・信濃川の川欠けにより、4度の移転を経て現在地に落ち着きました。

- 1688～1704（元禄年間）年頃  
日本海側最大の港町となりました。
- 1746（延享3）年  
信濃川右岸の大きな中洲・附寄島の開発が、安倍玄的ら5人により開始され、1750（寛延3）年に完了し、流作場新田と呼ばれました。
- 1768（明和5）年  
新潟町で長岡藩の御用金賦課をきっかけに町民が蜂起し、2ヵ月にわたり涌井藤四郎を総代とする町民による自治が行われました。
- 1843（天保14）年  
新潟町は幕府領となり、初代新潟奉行として赴任した川村修就は、砂防林の造成、物価の安定、海岸防備、風俗の改善など様々な施策を行いました。
- 1858（安政5）年  
新潟町は修好通商条約で開港5港の一つとなり、1868（明治元）年に開港しました。
- 1870（明治3）年  
県庁所在地となり、開化政策が積極的に進められ、1877（明治10）年までに新潟郵便役所、国立銀行などが置かれました。
- 1879（明治12）年  
新潟町に寄居白山外新田が編入され区政が施行されました。
- 1889（明治22）年  
関屋村古新田と合併し、全国で最初に誕生した39市の一つとして市制が施行されました。
- 1914（大正3）年  
新潟市と沼垂町は近代埠頭の築造を期して合併しました。
- 1929（昭和4）年  
萬代橋は現在の3代目に架け替えられました。
- 1943（昭和18）年  
石山村・鳥屋野村と新潟市は合併しました。
- 1955（昭和30）年  
新潟大火では市役所をはじめ、中心市街地の多くの建物が焼失しました。
- 1964（昭和39）年  
新潟国体が開催されました。国体に向けた整備のため、市街地の堀が全て埋め立てられました。また、同年マグニチュード7.5の新潟地震が発生し、被害は新潟市中心部に集中しました。

- 1972（昭和47）年  
関屋分水路が通水しました。
- 1978（昭和53）年  
北陸自動車道・新潟一長岡間が開通し、1997（平成9）年までに関越自動車道・北陸自動車道・磐越自動車道が全線開通しました。
- 1982（昭和57）年  
上越新幹線・新潟一大宮間が開通しました。
- 1991（平成3）年  
上越新幹線が東京駅に乗り入れ、新潟一東京間が日帰り圏内となり、新潟市は日本海側の高速交通拠点となりました。
- 1996（平成8）年  
拠点性を高めた新潟市は、中核市に指定されました。
- 2001（平成13）年1月  
平成の大合併で、黒埼町と合併しました。
- 2002（平成14）年  
日本・韓国で開催されたワールドカップサッカー大会では、新潟スタジアム（ビッグスワン）が試合会場となりました。
- 2005（平成17）年3月  
新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村及び中之口村の12市町村と合併しました。
- 2005（平成17）年10月  
巻町と合併しました。
- 2007（平成19）年4月  
新潟市は本州日本海側初の政令指定都市となり、「中央区」が誕生しました。
- 2008（平成20）年5月  
主要国首脳会議（G8サミット）の労働大臣会合が朱鷺メッセで開催されました。
- 2009（平成21）年9月～10月  
第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）・第9回全国障害者スポーツ大会（トキめき新潟大会）が開催されました。
- 2010（平成22）年10月  
APEC（アジア太平洋経済協力）食料安全保障担当大臣会合が朱鷺メッセで開催されました。
- 2014（平成26）年8月  
新潟市・沼垂町合併100周年記念事業を開催しました。

○2016（平成28）年4月

主要国首脳会議（G7サミット）の農業大臣会合が朱鷺メッセで開催されました。

○2017（平成29）年8月

中央区役所が市役所庁舎内から古町地区のNEXT21に移転しました。



中央区役所（NEXT21）と新潟市役所ふるまち庁舎（古町ルフル）

○2018（平成30）年4月

新潟駅高架第1期開業及び新幹線と在来線の同一乗り換えホームの供用が開始されました。

○2019（平成31）年1月

新潟開港150周年を迎えました。

○2019（令和元）年5月

金融・世界経済に関する首脳会合（G20サミット）新潟農業大臣会合が朱鷺メッセで開催されました。

### **3 自然**

○新潟市の中心部に位置する新潟西海岸は、日本海に面し、飛砂と強風からまちを守るための防風林として江戸時代末期よりクロマツが植林され、現在では多様な動植物を有する市民の貴重な自然資源となっています。

○中央区を流れる信濃川の両岸には、全国初の緩やかな堤防（やすらぎ堤）が整備され、緑地や遊歩道、サイクリングコースなど、河川と一体となった親水空間として、人々が集い、憩えるやすらぎの場となっています。

○鳥屋野潟は、都市に隣接し、貴重な自然環境を生かした市民の憩いの場として、また、市民の生活を守る遊水地として、治水上也大きな役割を果たしているほか、ガンカモ類の集団飛来地であるとともに、湖岸にはヨシが優占する広大な湿性草地が形成され、多様な動植物の生育・生息環境となっています。



白鳥と鳥屋野潟

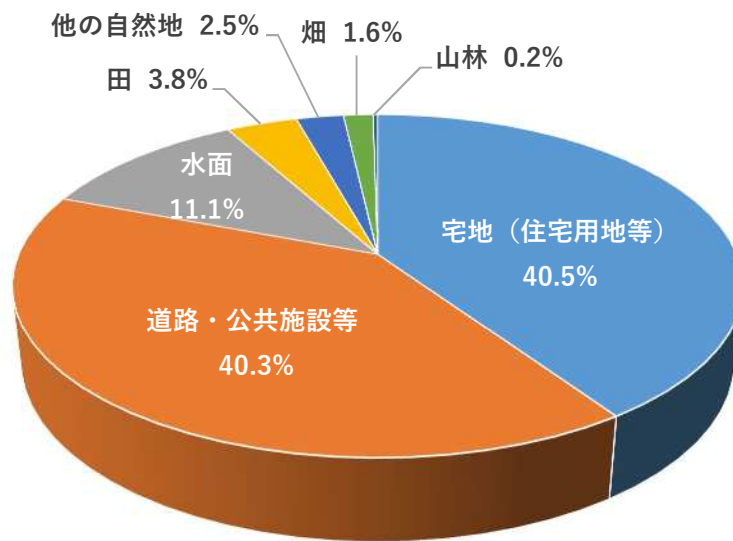
## 4 人口

- 人口 180,345 人（8区の中で最多）
- 世帯数 90,860 世帯（8区の中で最多）
- 1世帯あたりの人口 2.0 人（8区の中で最小）
- 中央区年齢階層別人口、将来推計人口（階層別）  
    老年人口（65歳以上）の割合 26.5.%（市全体の割合 29.7%）

（出典）R2 年国勢調査

## 5 土地利用

- 都心をもつ区として、様々な都市機能が集積し、土地の高度利用が図られています。
- 面積 37.75 km<sup>2</sup>（8区の中で最小）
- 用途別土地利用面積の割合  
    宅地が占める割合が最も高くなっています。



資料：新潟市都市計画基礎調査（H30）

## 6 産業

- 中央区は、新潟市の経済をけん引する中枢の役割を担っており、商業の事業所数や年間商品販売額は8区の中で最も多く、特に飲食料品、建築材料などの卸売業や衣料品、飲食料品などの小売業の割合が高くなっています。
- 工業の事業所数は、食料品製造業、印刷・同関連業の割合が高くなっています。
- 農業では、女池菜が新潟市の食と花の銘産品に指定されています。  
また、中央区は市内最大の消費地であることから、市内産農産物の認知度を高めるとともに地産地消に努めています。
- 北前船の交流により江戸時代初めから技術を積み重ねることで、伝統的工芸品に指定された新潟漆器や、良質な水や水運を活かした酒、みそ、しょう油、こうじ、漬物などの発酵食品も有名であり、これらを活かした新たな取組が進められています。



女池菜



酒造り



## 7 交通

- 区内には、国道7号や8号など複数の国道の起終点があるほか、主要な県道も中央区を起点に複数路線整備されており、北陸自動車道、磐越自動車道、日本海東北自動車道の3路線へのアクセスも良好です。国道7号と8号の一部区間は、全国でも有数の交通量を誇る新潟バイパスとしてまちの発展を支える大動脈となっています。また、新潟バイパスに接続する栗ノ木バイパスでは立体道路の整備も進んでおり、新潟駅や新潟空港をはじめとする区内外の交通結節点や様々な施設等が結ばれています。
- 鉄道は、上越新幹線や在来線3路線が乗り入れている新潟駅があり、陸の玄関口として公共交通の結節機能強化に向けた整備が進んでいます。また、区内へ新たな駅の設置も決定しています。
- バスは、市内中心部や郊外に向けて多様な路線が運行されているとともに、新潟駅周辺は県内外主要都市への高速バスの発着地となっています。
- 海路では佐渡航路があり、信濃川においては、水上シャトル便が運行されています。また、隣接区の新潟港山ノ下ふ頭からは関西や北海道への航路も就航しています。



整備された道路網



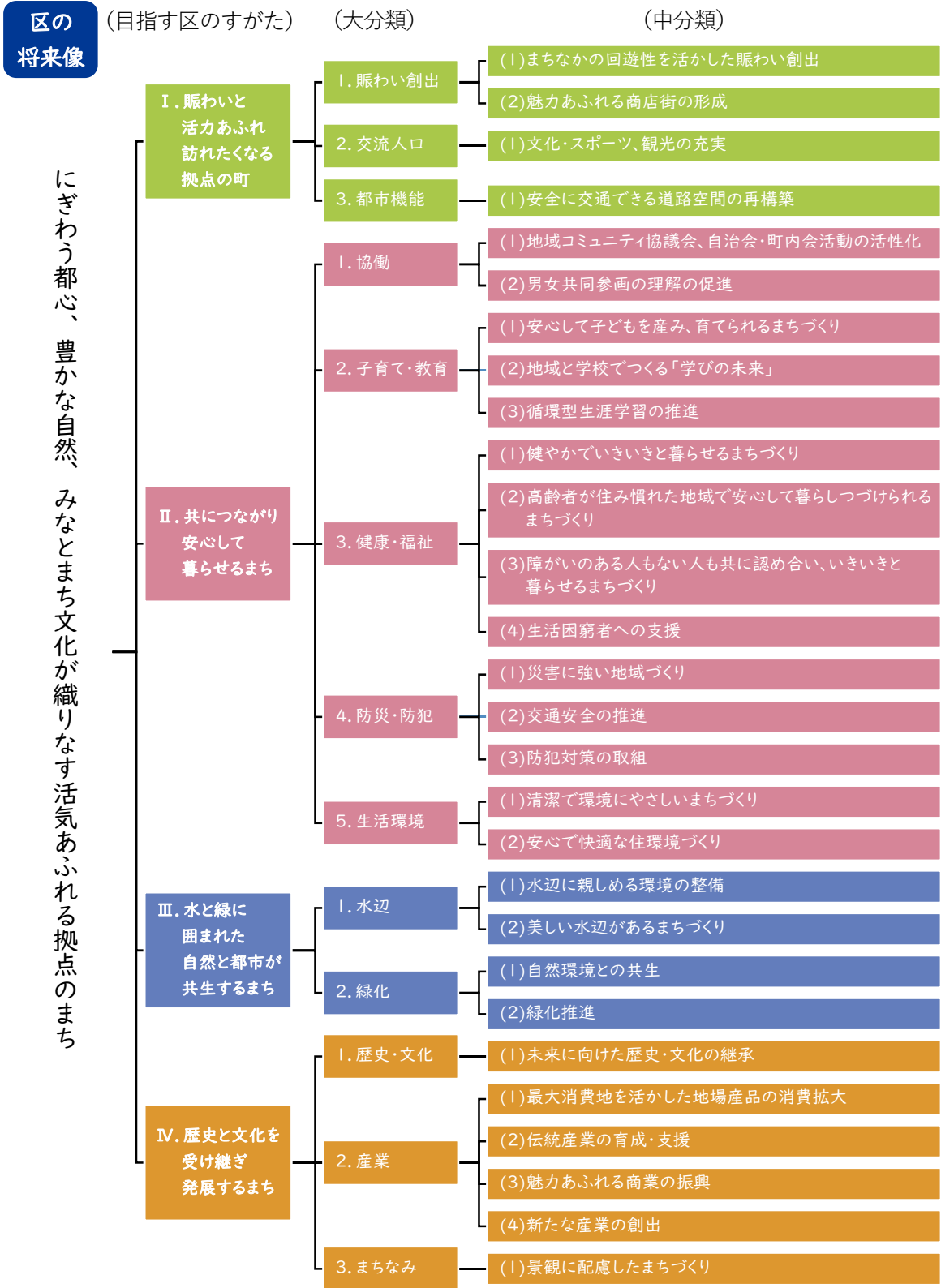
新潟駅



佐渡汽船とまちなみ

## 第2章 中央区 区ビジョンまちづくり計画体系図

区ビジョン基本方針      区ビジョンまちづくり計画



## 第3章 中央区の現状、特性と課題／まちづくりの方針

### 各分野に共通する現状、特性と課題

#### 【人口】

○中央区は、8区の中で最多の人口を擁し、世帯数も8区の中で最多となっておりますが、1世帯当たりの人数は8区の中で最小となっており、核家族化が進んでいます。

年齢別の構成割合では、15歳～64歳の人口割合は全市平均と比較して高くなっており、職住近接の利便性の高い居住地として、学生や働き手が集まる一方で、0～14歳の人口割合は全市平均を下回っています。また、65歳以上の人口割合は全市平均よりも低くなっています。

地区別にみると、市全体の中でも非常に高い高齢化率を示している地区がある一方で、大規模な宅地開発が進み、人口増が見込まれる地区もありもあります。地区による人口構成の偏りが見られます。

全体としては、少子・高齢化の進行と人口減少は今後も続くことが予想されており、このことによる様々な分野で影響が生じることが予想されます。

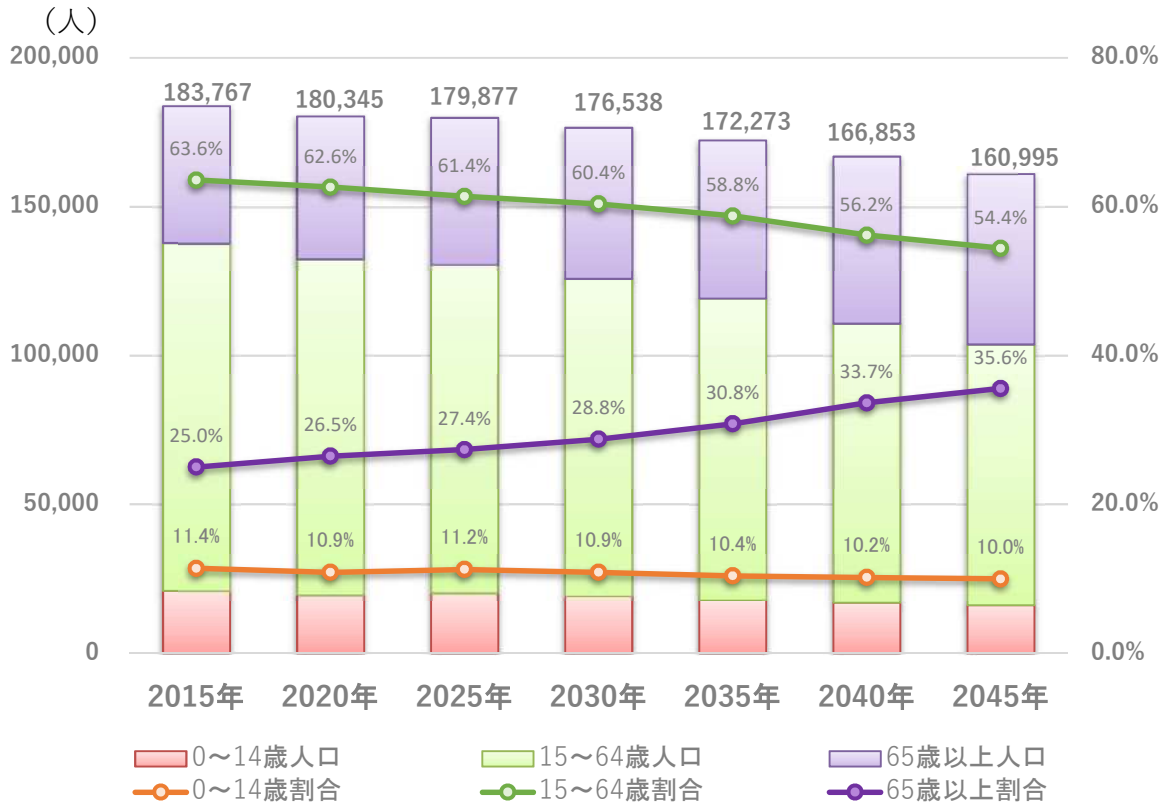
#### 将来推計人口（人口ビジョンのベース推計を基にした区別人口）

単位：人

	実績値		推計値（人口ビジョン・次期総合計画）				
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
<b>新潟市</b>	<b>810,157</b>	<b>789,275</b>	<b>764,481</b>	<b>736,106</b>	<b>704,120</b>	<b>667,965</b>	<b>631,510</b>
<b>中央区</b>	183,767	180,345	179,877	176,538	172,273	166,853	160,995
（市内構成率）	22.7%	22.8%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%	25.5%
0～14歳人口	20,945	19,599	20,234	19,190	17,915	16,960	16,084
0～14歳割合	11.4%	10.9%	11.2%	10.9%	10.4%	10.2%	10.0%
15～64歳人口	116,858	112,981	110,426	106,585	101,254	93,741	87,623
15～64歳割合	63.6%	62.6%	61.4%	60.4%	58.8%	56.2%	54.4%
65歳以上人口	45,964	47,765	49,217	50,762	53,104	56,151	57,288
65歳以上割合	25.0%	26.5%	27.4%	28.8%	30.8%	33.7%	35.6%
<b>北区</b>	76,328	72,804	70,701	67,299	63,549	59,393	55,285
<b>東区</b>	137,577	134,446	127,661	121,623	114,909	107,690	100,674
<b>江南区</b>	68,906	67,972	64,817	62,098	58,985	55,453	51,875
<b>秋葉区</b>	76,843	75,069	70,736	67,319	63,694	59,790	55,965
<b>南区</b>	45,685	43,437	41,114	38,651	36,057	33,201	30,282
<b>西区</b>	162,833	160,656	158,151	154,759	150,575	145,534	140,380
<b>西蒲区</b>	58,218	54,546	51,434	47,818	44,077	40,052	36,054

※推計値は5歳階級毎に按分計算し積み上げているため、各区人口の合計と市全体の人口が合わない場合がある

## 中央区の人口推移



## 区別人口密度

(人/㎢)

新潟市	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1,086.8	676.6	3,481.3	4,777.4	901.2	787.1	430.5	1,709.1	308.9

出典：令和2年国勢調査

## 【土地利用】

○中央区は、8区の中で最小の面積でありながら、都心を擁する区として、市街化と都市機能の集積が進み、その多くが住宅用地、商業用地、道路・公共公益用地として土地の高度利用が図られています。

こうした現状を踏まえ、各地区の地理的特性に配慮するとともに、地域ニーズも把握しながら、将来を見据えたまちづくりを考えることが必要です。

## 【将来想定される変化・課題を見据えた施策展開】

○都市化の進展や就労形態の変化などライフスタイルの変化や価値観の多様化、意識の変化なども進んでおり、今後の8年間、また、その先に起こる可能性がある社会変化に対しても積極的に対応していくことが必要です。

## 【区政運営】

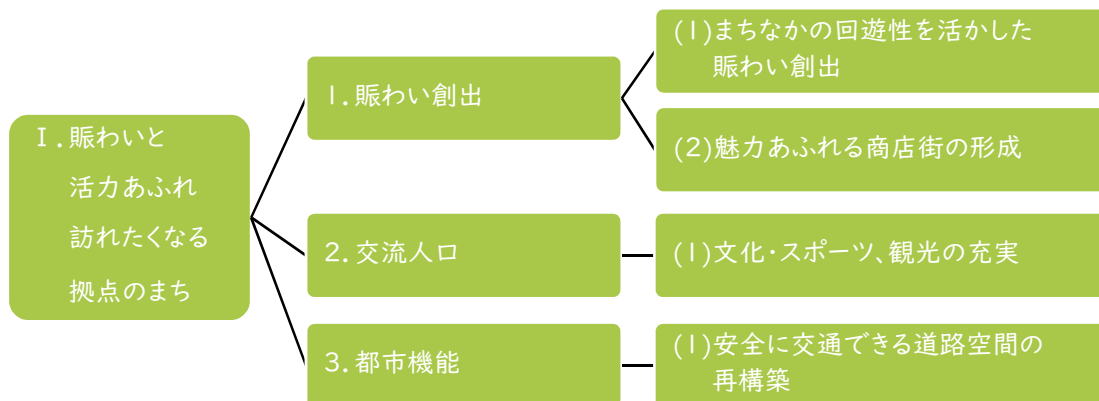
○持続可能で効果的な行政サービスを提供していくためには、少子高齢化をはじめとする人口構成の変化や施設の老朽化やなどを踏まえ、行政機能のさらなる効率化・適正化に加え、区民の利便性の向上などの観点が必要です。

○オンラインでの手続や、マイナンバーカードを活用した、コンビニエンスストアでの証明書交付など、社会情勢の変化に合わせた行政サービスが必要となっている一方、高齢化の進展に伴い、より丁寧な対応が必要となっています。多くの人が利用する区役所として、やさしい日本語を使うなど分かりやすく親切・丁寧な対応を徹底することや、窓口の利便性を高めることで、市民満足度の向上を図っていくことが必要です。

## I. 賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち

SDGs マーク

### まちづくり計画体系図（再掲）



## 1 賑わい創出

### 現状／特性と課題

- 江戸時代の町割りに始まる街区やみなとまちの風情を残す建造物などが多く残っている地区、大規模な商業施設が集積し、公共交通ターミナルの機能を持つ地区、また新潟駅連続立体交差事業に伴う整備が進む地区などがあり、多くの人々の往来が盛んです。引き続き、利便性、回遊性の向上を図り、まちなかの賑わいを創出する取組が必要になります。
- 中央区は、新潟市の経済をけん引する役割を担っていますが、その中核となる区内の商店街において歩行者通行量が減少するとともに、空き店舗が多く見られるため、地域の魅力を活かした空き店舗活用や賑わいを創出する取組を支援するなど、商店街の実情に合わせた支援や生産性の向上を推進していくことが必要です。

歩行者通行量グラフ

- 中心市街地における公共施設や文化施設などで来訪者や外国人定住者などに向けた情報提供の重要性が増しています。

### まちづくりの方針

#### (1) まちなかの回遊性を活かした賑わい創出

- 既存公共交通の活用や改善に取り組み、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネス等で訪れる人にとって快適でわかりやすい利用環境の充実や、多様な手段による回遊性の向上を図り、賑わいや活力の創出に努めます。
- 新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ「にいがた2km」において、高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民とともに取り組むことで、「緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア」を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、新潟市経済・産業の発展をけん引する成長エンジンとしていく取組を推進します。

にいがた2kmの写真

- 萬代橋周辺の道路や河川などの公共空間の活用や、都市開発事業を通じて、まちなかで楽しめる空間をつくとともに、信濃川の自然や水辺を活かした景観づくりや環境整備など、官民連携による地域の賑わい創出と活性化に向けた施策を展開し、萬代橋周辺ならではの魅力的なまちなか空間の形成を目指します。



萬代橋と信濃川やすらぎ堤

- 「古町」「西大畑」「しもまち」各地区は、みなとまち新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産の保全、新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ都心軸では、日本海拠点都市の風格を感じる都市空間の形成、万代シティでは賑わいの創出など、各地区特性を活かし、魅力や価値を高め、後世に継承できるよう関係者と連携しながら良好な景観の形成に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。



東大通と新潟駅

- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内内外への発信に努めます。

- 来訪者や外国人定住者などの利便性の向上や中央区の魅力のアピールのために、中心市街地における公共施設や文化施設におけるサインの活用など誰にでもわかりやすい情報提供に努めます。



案内サイン



## （2）魅力あふれる商店街の形成

- 商店街の新たなイメージづくりに向けた取組を支援し、多くの人が行ってみたいとなる、歩いてみたいとなるまちを目指します。
- 商店街が、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネス等で訪れる人が求める多様なニーズに応え、住民の暮らしや利用する人を支える視点を持った場として持続、発展できるよう、地域の要望を踏まえた支援に努めます。



万代シティ

## 2 交流人口

### 現状／特性と課題

- 新潟市は大規模な国際会議や学会、展示会などが開催される都市であり、その多くが開催される中央区には国内外から多くの参加者が訪れ、滞在します。外国人を含めた来訪者が心地よく催しに参加でき、滞在を楽しめる環境整備と、おもてなしの雰囲気づくりが必要です。
- 中央区には、新潟スタジアム（ビッグスワン）や朱鷺メッセ、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）、新潟市アイスアリーナ、新潟市水族館（マリンピア日本海）など、県や市を代表する文化・スポーツ・観光施設があり、市内外から多くの人々が集い、賑わっています。今後、イベント内容の充実、施設間の連携、市内外へのPRなどにより、さらなる交流人口の拡大を図ることが必要です。
- 県内有数の水産物の水揚げ基地であるとともに新潟港の賑わい・交流の中心となっている万代島地区において、賑わい創出と活性化に向けた取組が必要です。

## まちづくりの方針

### （1）文化・スポーツ、観光の充実

- 江戸時代から続く町割りや花街（かがい）、歴史的な建造物など中央区の魅力が区民や市内外の観光客にまち歩きを通して伝えられるとともに、信濃川をめぐる水上シャトル便など中央区の魅力的な資源を活用した観光客の誘致を図り交流人口の増加を目指します。
- 中央区の文化・スポーツ資源が区民が利用しやすいような環境整備に努めるとともに、特色ある観光資源も活用しながら、大規模な文化・スポーツイベントなどを誘致することのできるまちを目指します。



ビッグスワン



マリニピア日本海

- 万代島地区について、関係者と連携しながら、アクセス機能の強化をはじめとして賑わい創出を目指した取組を検討していきます。
- 万代地区の「新潟市マンガ・アニメ情報館」や古町地区の「新潟市マンガの家」を中心に「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携した関連事業の内容の一層の充実を努めるなど、文化の継承・発展、文化産業の発展と交流人口の増加を目指します

漏ふえず写真

### 3 都市機能

#### 現状／特性と課題

- まちなかでは、歩行者と自転車のいずれの通行量も多く歩行者の安全を第一として、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間の再構築が必要です。
- まちなかの歩道では、路上駐輪が多く歩行者通行の支障になっているため、駐輪場の確保が課題となっています。
- 美しいまちなみを形成し、都市景観の向上を図るとともに、ユニバーサルデザインに基づく歩行空間の整備が必要です。
- 新潟駅周辺地区においては、鉄道によって市街地が南北に分断され、鉄道を横断する交通の混雑などの問題があります。都市機能強化に向け、立体交差道路や新潟駅新万代広場などの供用に向けた新潟駅周辺整備の着実な推進が重要となっています。
- 市内中心部及び中心部と郊外を結ぶ、多くの路線バスが運行されています。新潟駅直下バスターミナルの整備により、南北市街地がつながることから、バス路線も大きな転換期を迎えます。地域ニーズに応じた生活交通の確保に向けた検討を行うとともに、中央区の各地域において、誰もが公共交通などで移動しやすい環境の整備に努めることが必要です。
- 豊かな自然を残す鳥屋野潟や高速交通網の結節点に隣接する鳥屋野潟南部地区約270haにおいて、優れたアメニティ空間の創出や新しい都市機能、民間活力の導入による開発推進が必要です。
- 健康づくりやレジャーに最適な歩行者向き、自転車向きの専用コースが整備されましたが、利用者からコースが分かりづらく歩行者と自転車が錯綜し危険などの改善要望指摘があることから、これを解決するとともに、更なる価値を増していくことが必要です。



工事が進む新潟駅新万代広場

## まちづくりの方針

### （1）安全に通行できる道路空間の再構築

- ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。
- まちなかにおいて、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間の整備・活用や駐輪場の確保など、人中心のウォークアブル\*な空間形成に努めます。



東大通“人中心の空間づくり”社会実験



自転車通行帯

### （2）交通基盤の強化

- 新潟駅周辺地区の整備を進めるとともに立体交差道路など主要道路の整備を進め、道路ネットワークの強化を図ります。
- 誰もが、自動車へ過度な依存をせずとも、それぞれのライフスタイルや状況に合わせて自転車や公共交通機関などの多様な手段を組み合わせる移動しやすい環境の実現と持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた検討に取り組みます。また、公共交通の利用促進とまちなかの活性化に向けて、デジタル技術を活用した情報の提供の連携の充実、モビリティ・マネジメント\*による意識啓発に取り組みます。



市内を走るバスとシェアサイクル

### （3）鳥屋野潟南部の拠点形成>

- 鳥屋野潟南部地区における住居・交流拡大ゾーンの開発促進に向けたスムーズな手続・調整を行うなど、複合拠点としての整備を支援します。

鳥屋野潟南部などの写真

### （4）新潟を堪能しながら健康づくりができる道路空間の構築

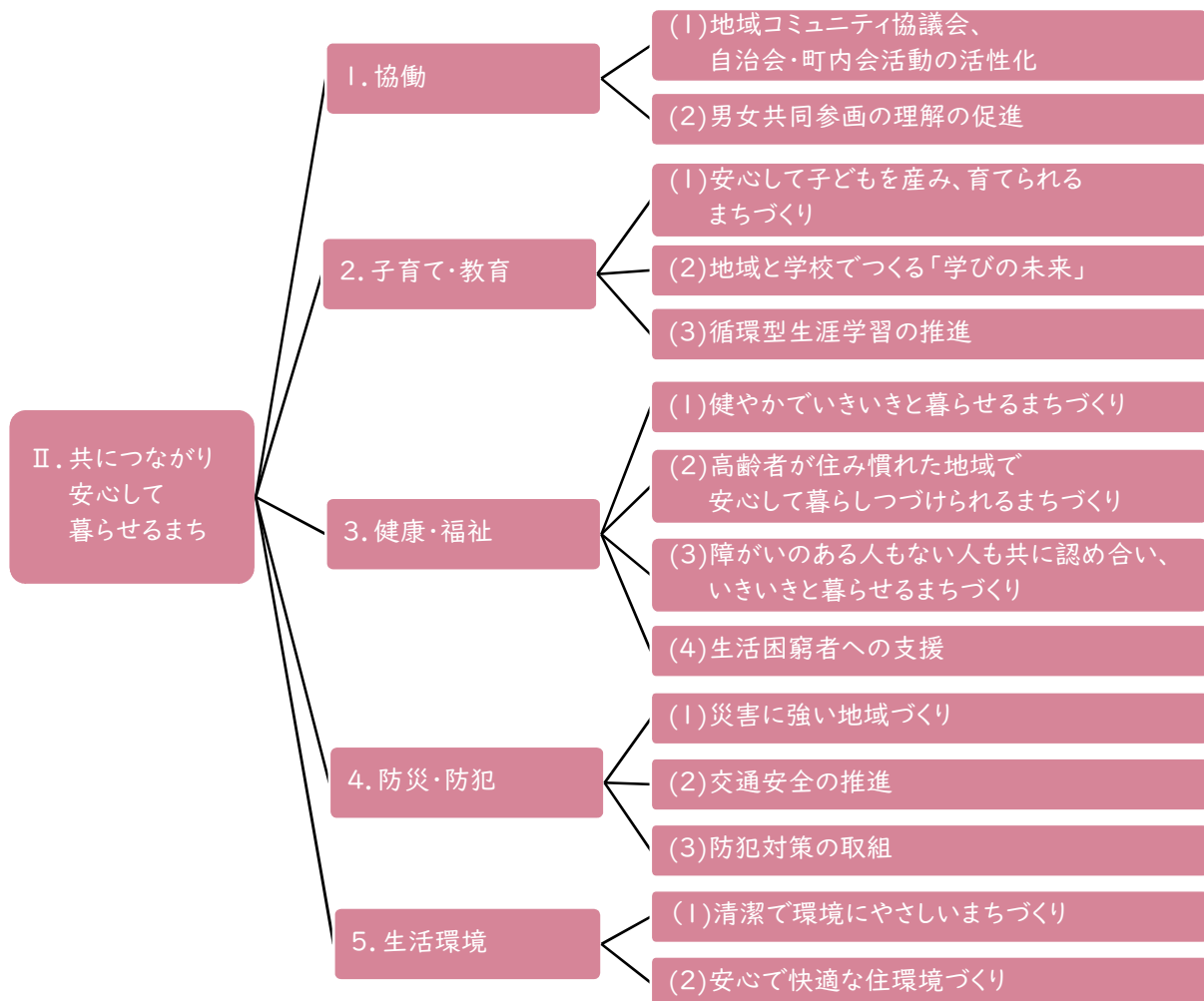
- ぐるりん新潟島（新潟島一周自転車道）の利便性・安全性の向上を図るとともに、区民をはじめ、市外・県外からの方々が気持ち良く街に出かけ、新潟を堪能して気軽に健康づくりができる環境整備に努めます。



## Ⅱ. 共につながり安心して暮らせるまち

SDGs マーク

### まちづくり計画体系図（再掲）



## 1 協働

### 現状／特性と課題

- 都市化の進展や核家族化、就労形態の変化などライフスタイルの変化や価値観の多様化などにより、地域の連帯感が希薄化している一方で、防災や福祉など公的サービスの多様化に伴い、地域活動の重要性が高まっているため、活動の主体となる地域コミュニティの活性化を図っていくことが必要です。
- 人口減少・少子高齢化の進行に伴い、住民自治の礎となる自治会・町内会や地域コミュニティ協議会における担い手不足が現在よりさらに進む可能性がある中、持続可能な住民自治を実現するためには、活動内容や管理運営体制の見直し、民間活力、地域外人材の活用などが重要になってきます。
- 地域が持続可能な形でコミュニティ活動に取り組むうえで、活動に必要な施設や場所を十分に確保することができていない地域コミュニティ協議会があり、活動拠点の確保が課題となっています。
- 一人一人の人権を尊重し、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）のない社会の実現に向けた取組が必要です。

### まちづくりの方針

#### (1) 地域コミュニティ協議会、自治会・町内会活動の活性化

- 子どもや若い世代へ地域防災や福祉活動への参加を促すなど、将来の地域活動の担い手としての意識を醸成するとともに社会性の向上を図っていきます。
- 地域住民が主体となり様々な取組を行う自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の活動や団体運営を支援します。
- 各種団体の情報交換の促進や、研修の実施などにより、地域コミュニティ協議会の人材育成を推進します。



地域コミュニティ協議会研修会

- 地域活動の拠点については、施設の借上げや整備などの助成を行うとともに、公共施設の再編による施設の空きスペースの活用を含めて検討するなど、財産経営の推進にも配慮しながら必要となる拠点機能の確保を図っていきます。

## （2）男女共同参画の理解の促進

- 誰もが多様性を認め合いながら、一人一人の人権を尊重し、性別による固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消に向け、意識啓発と理解促進に取り組めます。



小学校高学年向け男女共同参画授業

## 2 子育て・教育

### 現状／特性と課題

- 中央区は、子育て世帯に占める核家族の割合が高く、転入する子育て世帯も多いことから、身近な支援を受けづらい場合があり、子育てに不安や悩みを抱える世帯の孤立化が課題となっています。このため身近な地域において子どもの健やかな成長を支える仕組みづくりや、ネットワーク（家庭・企業・地域・行政）の強化が必要です。

表：6歳未満の世帯員がいる世帯

区名	世帯数 A	6歳未満の 世帯員の いる世帯 B	6歳未満の 世帯員のいる 核家族世帯 C	6歳未満の 世帯員のいる世 帯の割合 B/A	6歳未満の 世帯員のいる 世帯のうち 核家族世帯の 割合 C/B
北区	27,344	2,127	1,555	7.8%	73.1%
東区	57,417	4,664	3,991	8.1%	85.6%
中央区	90,748	5,828	5,330	6.4%	91.5%
江南区	24,847	2,417	1,937	9.7%	80.1%
秋葉区	27,945	2,478	1,965	8.9%	79.3%
南区	14,871	1,382	918	9.3%	66.4%
西区	68,883	5,452	4,696	7.9%	86.1%
西蒲区	18,642	1,461	907	7.8%	62.1%
新潟市合計	330,697	25,809	21,299	7.8%	82.5%

資料：国勢調査（R2）



- 全ての子どもが、かけがえのない、人格と人権を持った一人の人間として尊重され、今を豊かに生き、成長発達する権利を有していること、そして、大人がこれを保障する責務があることを一人一人が理解することが重要です。
- 市立の小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校でコミュニティ・スクールの取組を推進しています。これまでの地域と学校パートナーシップ事業によって築いてきた土台の上に、さらに地域と学校の関係の深化を進め、「地域総がかり」で地域の将来を担う子どもの学びと成長を支えていくことが重要です。
- 人生100年時代を迎え、区民が豊かな人生を送るためにも、生涯学習との関わり方が重要となっています。

## まちづくりの方針

### （1）安心して子どもを産み、育てられるまちづくり

- 子育てについての学習機会の提供や親同士の仲間づくりを支援するなど、子育て中の親などの不安や負担の軽減を図っていきます。
- 安心して子どもを産み・育てることができるように、身近な地域で見守り、子育てする取組を支援し子育てしやすい環境づくりに努めます。
- 生まれる前から、子育てに対する不安を軽減し、安心して子どもを産み・育てることができる意識を高めるとともに、男女ともに取得しやすい育児休業制度や男性の育児参加などを積極的に推進するための啓発に努めます。
- 子育ての先輩である祖父母の育児参加を促進することにより、家族の支え合い・助け合いによる子育て支援の向上に取り組みます。
- 中央区内の子育て支援施設やイベント情報を発信し、子どもとともに子育て中の親も楽しく、のびのびと子育てできる環境づくりに努めます。
- 全ての子どもが豊かな子ども期を過ごすことができるよう、新潟市子ども条例の趣旨を、権利の主体である子どもたちのほか、幅広い市民への普及・啓発に努めます。
- 児童虐待防止に向け、中央区内の関係機関や施設などとの連携により、家庭支援に努めます。



パパママ子育て支援

## （2）地域と学校でつくる「学びの未来」

- 「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える取組の推進に努めます。
- コミュニティ・スクールの推進に向け、学校と地域との良好な関係づくりのため、地域と学校パートナーシップ事業などへ地域住民の参画を促進し、学校教育活動を支援する仕組みづくりに努めます。

学校に関する写真

## （3）循環型生涯学習の推進

- 区民の主体的な学習活動を推進するため、時代や社会の変化並びに学習ニーズ、地域課題に応じた多様な学習企画や学習情報の提供に努めます。
- 区民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に生かすために、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材を育成するとともに、学校や地域などと連携しながら、その活動の場を支援します。

# 3 健康・福祉

## 現状／特性と課題

- がん、心疾患、脳血管疾患など生活習慣病関連疾患の死因に占める割合は依然高くなっています。健康でいきいきとした生活を送るためには、特定健診、がん検診の受診率向上の取組をはじめ、食生活改善推進委員や運動普及推進委員などのボランティアや地域コミュニティ協議会などと連携し、健康づくりに取り組むことが必要です。
- こころの健康を保つための適切な睡眠、休養、ストレスとの付き合い方について、情報発信と普及啓発を行うことが必要です。
- 中央区の高齢化率は、市平均より低いものの、小学校区単位では、市内でも高齢化率の高い地域があります。住民はもとより、地域内事業所なども含めた地域社会全体で医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域づくりを進めていくことが必要です。

表：65歳以上の割合

北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	新潟市合計
32.0%	29.2%	26.5%	30.3%	32.1%	31.7%	29.0%	35.0%	29.7%

資料：国勢調査（R2）

- 区民の支援ニーズの中には、複数の生活上の課題を抱え複雑化・複合化したものもあります。介護や障がいなど分野ごとの支援だけでは対応が難しい場合もあるため、包括的に支援する体制の整備が必要です。
- 障がい者の就労支援事業所や地域活動支援センターなど中央区の通所施設は、公共交通の利便性が高いこともあり、他区の障がい者も利用しています。また、他区と比較して障がい者用グループホームが少ないという現状もあり、障がい者が住み慣れた地域で住み続けることができるよう、施設の開設を関係機関に働きかけるとともに地域の理解を進めていくことが必要です。
- 生活困窮世帯の方がより安定した生活を送ることができるように、中央区に開設した職業相談コーナーを活用し、市が提供する福祉サービスと一体となって就労支援を図っていくことが必要です。
- 生活困窮世帯においては、学習機会の不足からその子どもまで貧困に陥るケースがあります。そのような事態を防ぐため、現在行っている学習支援を継続実施し、学習習慣の定着や学力の向上を図ることが必要です。

健康・福祉に関連する写真

## まちづくりの方針

### （1）健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

- がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の罹患（りかん）率を下げ、死亡率を減少させるために、区民の禁煙や適正飲酒、適度な運動、食生活改善などの取組を支援します。また、特定健診やがん検診、歯科検診の定期的な受診を勧め、早期発見、早期治療につなげるように努めます。

健康・福祉に関連する写真

- 健康でいきいきとした生活を送るために、介護予防や健康教育などに取り組みます。また、運動習慣のない高齢者の介護予防や生活習慣病予防に対する地域主体の活動を支援し、区民の健康づくりに努めます。
- こころの健康を保つための適切な睡眠、休養、ストレスとの付き合い方について、情報発信と普及啓発に努めます。

## **（2）高齢者をはじめ誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるまちづくり**

- 地域の課題やニーズを把握し、地域主体の支え合い、助け合いの関係づくりに努めることで、高齢者の社会的孤立を防ぎ、地域で安心して生活できるまちづくりを進めるための支援策について地域コミュニティ協議会や社会福祉協議会などと協働し、高齢者を地域で支えるシステムの深化・推進に努めます。
- 区民の複雑化・複合化した支援ニーズに応えるため、様々な機関が協働し、包括的に支援する体制の構築に努めます。

## **（3）障がいのある人もない人も共に認め合い、いきいきと暮らせるまちづくり**

- 障がいのある人もない人も一人一人が大切にされるまちづくりを進めます。
- 特別支援学校との連携を密にして、卒業後の就労支援事業所などの施設利用希望者を早くから把握し、スムーズな施設利用ができるよう努めます。
- 障がい者グループホームの整備など、住みなれた地域での生活の拠点づくりを進めます。

## **（4）生活困窮者への支援**

- 中央区に設置されている職業相談コーナーの活用の呼び掛けや、ハローワーク新潟と福祉事務所がより一層連携を密にして、生活困窮者の就労意欲や要望を把握することで、早期就労に向けた支援を行っていきます。
- 貧困連鎖を防ぐために、継続的な学習機会及び居場所を提供することで、学習習慣の定着を図るほか、学習支援員等の継続した親子への関わりにより、学習環境や生活習慣の改善に必要な支援を行っていきます。

## 4 防災・防犯

### 現状／特性と課題

- 災害が発生した場合には、自主防災組織による地域防災力が重要になるため、自主防災組織の強化や区民一人一人が適切な行動をとれるよう意識の向上が必要です。
- 人口集積に対応した大規模災害への備えが求められるとともに、災害時の被害を軽減させるために自主防災組織の活動の効率化を図ることが必要です。
- 超高齢社会における避難行動のため、地域と要支援者の関係づくりを進めることが重要です。
- 計画降雨を超える近年の豪雨において、施設整備だけで浸水被害を防止するには限界があるため、自助・共助対策の促進なども含めたハード・ソフト両面からの総合的な浸水対策が必要です。
- 地震や台風などによる電柱倒壊、道路閉塞を排除し災害時における緊急車両などの円滑な通行を確保するとともに、災害時に安全な歩行空間の確保が必要です。
- 様々な都市機能が集中し、交通量や人口が多いため、交通事故発生件数が新潟市全体の約3割を占めています。また、近年は、道路交通法改正など交通環境を取り巻く状況も変化しており、交通安全に対する啓発と区民意識の一層の向上が求められます。
- 犯罪の発生件数は、年々減少していますが、高齢者を狙った特殊詐欺が手口を変えて発生しているほか、繁華街では違法な客引きも依然として見られるため、引き続き、防犯活動や意識啓発を進めていくことが必要です。
- 子どもの犯罪被害の防止や、不審者対策として、子ども自らの判断による危険回避や、地域による見守り活動などの対策が必要です。

災害発生状況や  
自主防災組織に関する  
写真や資料

犯罪発生件数などに関する資料

## まちづくりの方針

### （1）災害に強い地域づくり

- 地域が自主的に防災力の強化を進められるよう、地域の防災リーダーなどの育成を図るとともに、自主防災組織による防災訓練を実施するほか、防災装備の充実を図ります。
- ポンプ場や雨水管などの施設整備に併せ、防水板設置等工事への助成を行うなど、ハード・ソフト一体となった総合的な浸水対策の取り組みにより、被害の最小化を目指します。
- 緊急輸送道路の無電柱化などに取り組み、都市景観及び都市防災機能の向上に寄与するとともに、安全な歩行空間の確保に努めます。
- 高齢化が進展するなか、避難行動要支援者が増加しているため、要支援者と支援者との関係づくりを進めることで、避難行動要支援者対策を図っていきます。



地域と小学校との連携防災訓練



無電中化された道路

### （2）交通安全の推進

- 地域と警察及び交通安全関係団体と連携し、各世代における段階的かつ体系的な交通安全教育、啓発活動を行い交通事故にあわない、起こさないという意識の醸成を図ります。

交通安全運動に関する写真

### （3）防犯対策の取組

- 高齢者を狙った特殊詐欺の予防に関する啓発活動を一層充実させるなど、防犯意識の向上に努めます。
- 地域住民や警察、行政機関が協働して防犯力の高い地域社会を作っていくとともに、防犯ボランティア団体によるパトロールなど地域住民により自主的に行われている防犯活動と連携し、子どもが被害にあう犯罪の防止や路上での違法な客引きなどの対策を進めます。

防犯活動に関する写真

## 5 生活環境

### 現状／特性と課題

- 自然環境にやさしい資源循環型社会の実現に向け、3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の考え方にに基づき、ごみの減量化を積極的に推進することが必要です。
- たばこの吸い殻や空き缶などのぽい捨て、路上喫煙制限地区内での路上喫煙は新潟市の条例で禁止されています。ごみの持ち帰りや喫煙マナーの啓発をどのように進めていくかが課題となっています。
- 新潟市では空き家が増加しています。管理不全な空き家は防災、防犯、衛生などの面で問題となるため、関係部署と連携した対応が必要です。

### まちづくりの方針

#### (1) 清潔で環境にやさしいまちづくり

- 資源循環型社会の実現に向けたごみと資源の分別の徹底、ごみのぽい捨て禁止など、区民の環境美化意識やマナーの向上のための啓発活動に努めるとともに、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会や様々な団体と連携・協働した環境美化活動を推進します。

環境美化に関する写真

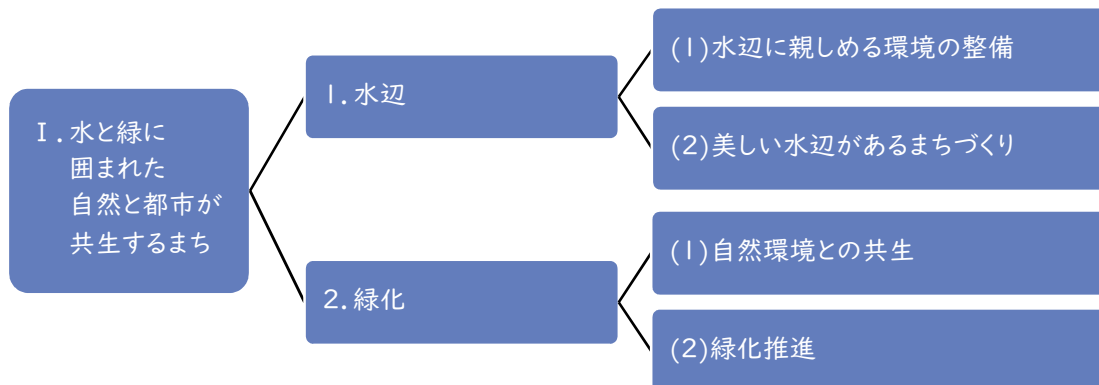
#### (2) 安心で快適な住環境づくり

- 住宅・建築物の適正な維持管理の呼びかけに努めるとともに、管理不全な空き家について、関係部署と連携して対応します。

### Ⅲ. 水と緑に囲まれた自然と都市が共生するまち

SDGs マーク

#### まちづくり計画体系図（再掲）





## 1 水辺

### 現状／特性と課題

- 中央区は都心部を流れる信濃川をはじめ、鳥屋野潟や日本海などの豊かな水辺に恵まれています。これらの水辺環境を活かした賑わいの創出や魅力を高める取組を行い、次世代に引き継いでいく必要があります。
- 中央区は「みなとまち新潟」の発展を支えてきた日本海や信濃川と様々な都市機能が集積するまちなかが近接・共生する地域であり、水辺とまちとの更なる一体感を醸成するため、こうした特徴を活かした取組を進める必要があります。
- 新潟市は国内で初めての「ラムサール条約湿地自治体認証制度に基づく認証」を受けた自治体です。
- 中央区は市街地に隣接し、都心部に貴重な自然環境を残す鳥屋野潟を有しています。市街地に隣接するという特徴を生かせるよう鳥屋野潟の環境保全に取り組むとともに豊かな水辺の活用について県と連携して進めていく必要があります。
- 鳥屋野潟湖畔などへのごみの不法投棄など、まちの美観を損ねている事例があることから、マナーやルール遵守の啓発や環境美化活動などの取組が必要です。
- 日本海に面した美しい海岸が連なっている中央区においては、関屋浜と日和山浜に海水浴場が設置されており、市内外から多くの遊泳者が訪れています。今後も遊泳者の安全確保に加え、魅力のある水辺環境の整備が必要です。
- 護国神社周辺は、「日本の白砂青松100選」に指定された景勝地であり、海岸、砂浜など美しい水辺の環境を守っていく必要があります。

## まちづくりの方針

### （1）水辺に親しめる環境の整備

- 身近に水を感じ、気軽に水に親しめるよう、情報発信や機会づくりに努め、水辺の利活用を推進するとともに、新たな魅力づくりと賑わいの創出を図り、大切な水辺環境を次世代に引き継いでいきます。
- 信濃川の自然や水辺を活かした景観づくりや環境整備など、官民連携による地域の賑わい創出と活性化に向けた施策を展開し、萬代橋周辺ならではの魅力的なまちなか空間の形成を目指します。
- 関屋浜と日和山浜の2つの海水浴場について、遊泳者の安全確保や魅力ある水辺空間としての環境整備に努め、安心・安全な海水浴場としてPRし利用推進を図ります。



万代テラスのにぎわい



関屋浜海水浴場

### （2）美しい水辺があるまちづくり

- 鳥屋野潟や海岸での清掃活動を積極的に支援するほか、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会や様々な団体と連携・協働した環境美化活動や環境啓発活動を推進します。



鳥屋野潟一斉清掃

## 2 緑化

### 現状／特性と課題

○区内には、市街地に隣接して、鳥屋野潟や西海岸公園など豊かな自然が広がっています。これらの自然と共生し、多様で美しい自然環境を将来に引き継ぐことが必要です。

○新潟市の中心部を流れ、海に注ぐ信濃川において、国で実施する河川改修事業に合わせて川辺の散策などを可能とする緑地整備を、一体的に実施してきました。引き続き、安心・安全の新たな機能を付加した安らぎとゆとりを与えてくれる空間の整備が必要となります。



信濃川やすらぎ堤

○西海岸公園には、西船見町から関屋地区までの海岸沿い約5kmに渡って広がるクロマツ林が現存し、まち歩きから少し足を延ばして森林浴を楽しめる自然豊かな環境となっており、今後も着実な保全や整備の推進を図ることが必要です。

○汐見台周辺の海岸林は林帯幅が狭く落葉樹が中心であり、季節風の影響が最も大きい冬季の防風・防砂効果に対する十分な機能を満たすことができないため、効果を高める整備など、住環境の改善が課題となっています。

○「日本の都市公園100選」にも選ばれた日本で最初の公園の一つである白山公園や、春になると周囲約8kmに咲き誇る桜で多くの人で賑わう鳥屋野潟周辺の魅力を、いかに広く発信し活用していくかが課題となっています。

○緑あふれ、潤いあるまちづくりを進めるため、区民一人一人の身近な生活空間の緑化を図ることが必要です。

○まちなかでは、他の地区と比較して緑が少ない状況となっています。都心部が新しく生まれ変わっていく中、都市部の景観や魅力をより向上させるためにも緑豊かな都市空間の実現が必要です。

## まちづくりの方針

### （1）自然環境との共生

- 美しい自然環境を将来に引き継ぐため、地域や関係団体と連携して、保全に取り組むとともに、自然環境の賢明な利用につなげていきます。
- 区民が水に親しみ、安らぐことができる憩いの場として、信濃川やすらぎ堤などの水辺空間の整備を引き続き進めていきます。
- 約5kmに渡って広がるクロマツ林があり、まち歩きから少し足を延ばして森林浴が楽しめる西海岸公園について、緑豊かな環境整備の推進に努めます。
- 防風・防砂対策のモデル地区として、市営汐見台住宅跡地の海岸林再生の取組を契機に他地区への展開を図り、新潟島の海岸林の必要性・重要性を広く区民に周知するとともに、区民とともに維持していく活動を促進します。
- 「日本の都市公園100選」にも選ばれた白山公園や、春に周囲約8kmに桜が咲き誇る鳥屋野潟の周辺などの整備を進めるとともに、中央区における自然の魅力をいかに発信し活用していくか検討します。



白山公園



鳥屋野潟の桜

## （2）緑化推進

- 緑豊かな都市空間実現のため、区民や民間事業者などと連携して街路樹の保全や民有地を含めた新たな緑化を促し、都市の景観や魅力の向上に努めます。
- 地域の活動団体や区民と協働で季節の草花を植え、来訪者が楽しめる空間づくりに取り組みます。
- 区民一人一人に緑化意識を啓発し、緑あふれ、潤いある都市の環境及び景観づくりを推進します。

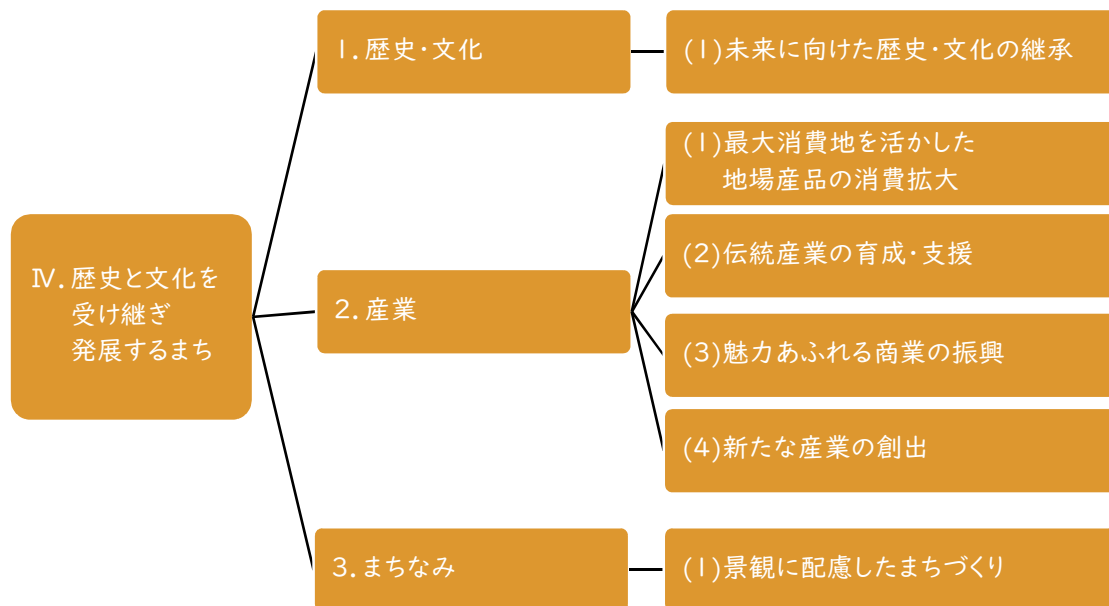


にいがた2kmフラワーフェスタ

## IV. 歴史と文化を受け継ぎ発展するまち

SDGs マーク

### まちづくり計画体系図（再掲）



## 1 歴史・文化

### 現状／特性と課題

- しもまち地区や沼垂地区など中央区には、みなとまち新潟を代表する様々な歴史的建造物や貴重な文化が数多く残されています。開港5港の一つとしてのみなとまち新潟の歴史・文化の魅力を区内外へ発信していくとともに、小中学生に伝えるなど次世代へ語り継いでいくことが重要です。
- 中央区は、古町芸妓（げいぎ）をはじめ古くから発展してきたみなとまちの歴史や料亭・発酵食などの食文化など多くの魅力を持っています。区民が誇りと愛着をもってまちに暮らし、多様な世代が地元の歴史や魅力について自信をもって語るができるよう、地域や学校で歴史や文化を学ぶ環境づくりが必要です。
- 中央区には、マンガやアニメに関する施設が複数あるため、これらの施設や人材などの資源を広く活用し、マンガ・アニメ文化を市内外に広めていく取組の充実が課題になっています。



北前船イメージ写真



旧小澤家住宅

## まちづくりの方針

### （1）未来に向けた歴史・文化の継承

- 若い世代にみなとまち新潟の歴史・文化を継承するため、学校における地域の歴史やまちなか探検などの授業をきっかけに、地域住民の協力を得ながらさらに理解を深め、子どもたち自らの歴史・文化となるよう努めます。
- 自分たちの暮らすまちに誇りを持つことができるよう、地域の歴史や文化にふれあい、学ぶことのできる機会の提供に努めます。
- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に努めます。
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。
- 万代地区の「新潟市マンガ・アニメ情報館」や古町地区の「新潟市マンガの家」を中心に「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携した関連事業の内容の一層の充実を努めるなど、文化の継承・発展、文化産業の発展と交流人口の増加を目指します。



「えんでこ」まち歩き



## 2 産業

### 【現状／特性と課題】

- 中央区は、市内最大の食糧消費地であるため、新潟市の食と花の銘産品である女池菜をはじめ地場産農産物の認知度を高めることで消費拡大を図り、地産地消の一層の推進に努めるなど、農水産業の活性化を図ることが必要です。
- 中央区は、北前船の寄港地として多くの地域と文化的交流が行われ、栄えてきました。中でも新潟漆器は、国の伝統的工芸品に指定され、伝統的な地場産業へと発展しましたが、引き続き区内外への魅力発信していくことが必要です。
- 中央区では、古くから酒、みそ、しょう油、こうじ、漬物など発酵食品の店や蔵・工場などが多く、こうした中央区の伝統的な加工食品を活用した食文化の魅力発信が課題となっています。
- 江戸時代に創業し、現在も老舗料亭として格式を誇る「行形亭（いきなりや）」と「鍋茶屋（なべぢやや）」は、いずれも国の登録有形文化財で、芸妓の歌と踊りや四季折々の日本料理で人々をもてなし、新潟の料亭文化を守ってきました。こうした由緒ある古町芸妓と料亭文化を保護・育成していくことが必要です。
- 中央区の主な商業地である古町地区・万代地区・新潟駅周辺地区は豊かな市民生活の実現や新潟市の経済をけん引する中核としての役割を担っていますが、歩行者数や小売販売額が減少していることから、活性化に向けた対策が必要です。
- にいがた2kmエリアを人・モノ・情報が行き交う活力あるエリアとして経済・産業の発展をけん引する成長エンジンとするための取組が必要です。



古町芸妓と料亭

## まちづくりの方針

### （1）最大消費地を活かした地場産品の消費拡大

- 区内における農産物の生産量は少ないものの、中央区は市内最大の消費地であるため、新潟市産農産物の活用や地産地消の推進に努めます。



白山市場の朝市

### （2）伝統産業の育成・支援

- 中央区の伝統的工芸品産業である新潟漆器や食文化の特徴である発酵食品の魅力を区内外に向けてPRしていきます。
- 全国屈指の花街として、特に江戸時代後期から明治時代中頃まで繁栄を極めた古町花街を彩る古町芸妓や料亭文化を保護・育成するとともに、PRに努めます。
- 伝統産業の持つ魅力を他分野ともつなぎ合わせながら育成・支援に努めます。



新潟漆器



みそ作り

### （3）魅力あふれる商業の振興

- きめ細かなサービスの提供やオンリーワン商品の開発・販売、新たな魅力ある店舗の開業、歴史・文化を活用した取組やイベントなど商店街の活性化に向けた取組を支援することにより、魅力あふれる商業の振興に努めます。

### （4）新たな産業の創出

- にいがた2kmエリアを産業DX\*、ICT\*推進の先進エリアとしての取組を強化するほか、AI\*やIoT\*、5G\*をはじめとした先端技術の活用を促進するなど、多種多様な企業や人材が協業・共創するための環境を整え、新規事業の創出の支援に努めます。

### 3 まちなみ

#### 【現状／特性と課題】

○西大畑地区には、江戸時代から続く料亭「行形亭（いきなりや）」や明治期に建築された「北方文化博物館新潟分館」、大正期に建築された「旧齋藤家別邸」、大正から昭和初期に流行した洋館付住宅などが残っており、歴史的価値の高い建造物が建ち並ぶまちなみとなっています。このまちなみを構成する歴史的建造物の保全を図り、歴史的な佇（たたず）まいを活かした風情ある景観を創り出していく必要があります。



旧齋藤家別邸

○新潟を代表する繁華街の一つである「古町花街」地区の骨格を形成し、懐かしいまちなみの風情を今に留めている小道を、歴史的景観に配慮しながら、賑わいあるまちづくりに向けて整備を進める必要があります。

○古くから受け継がれてきたみなとまち新潟の風情と政令市新潟の高度な都市機能が融合したまちなみづくりを進める必要があります。



江戸時代の町割りに始まるまちなみ



石畳の鍋茶屋通り

## まちづくりの方針

### （1）景観に配慮したまちづくり

- 「古町」「西大畑」「しもまち」各地区は、みなとまち新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産の保全、新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ都心軸では、日本海拠点都市の風格を感じる都市空間の形成、万代シテイでは賑わいの創出など、各地区特性を活かし、魅力や価値を高め、後世に継承できるように関係者と連携しながら良好な景観の形成に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。
- ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。

**編集・発行：令和 年 月 新潟市中央区役所地域課**

〒951-8553 新潟市中央区西堀通 6 番町 866 番地 NEXT21 5 階

TEL 025-223-7023 FAX 025-223-3660

<https://www.city.niigata.lg.jp/chuo/>

## 1. 区ビジョンまちづくり計画のコンセプト

### 【現状】

- 現在の区ビジョンまちづくり計画の計画期間である平成27年から令和4年の8年間においても、引き続き人口減少や少子・高齢化が進行しています。加えて、新潟駅とその周辺の整備が進んでいることや「にいがた2km」の取組が開始されたこと、またSDGsなど持続可能な社会の実現に向けた意識の高まり、新型コロナウイルス感染症の流行やなどによる人々の価値観や意識の変化もあり、まちなかや社会情勢にさまざまな変化が生じています。

### 【計画記載のコンセプト】

- 現状を踏まえ、現在の区ビジョンまちづくり計画で取り組んできた人口減少や少子・高齢化などの大きな課題については、引き続き対応をしていくために必要な内容を記載します。加えて今後の8年間、またその先に起こる可能性がある社会変化に対しても積極的に対応しながら、まちなかに賑わいがあり、安心安全な環境で市民の皆様が明るく過ごせるように、「選ばれる都市 新潟市」を実現を目指すために必要な内容を記載します。

## 2. 区ビジョンまちづくり計画素案のポイント

### 区の将来像

にぎわう都心、豊かな自然、みなとまち文化が織りなす活気あふれる拠点のまち

### 目指す区のすがた

#### I. 賑わいと活気あふれ訪れたいくなる拠点のまち

- 新潟駅のリニューアルや都市再生緊急整備地域への指定など、まちづくりの大きな転換期をむかえることから、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネスで訪れる人にとって魅力的なまちを作ることが必要です。
- ✓ 新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ「にいがた2km」において、まちなかの回遊性を活かした賑わいづくりを市民とともに取り組みます。
- ✓ 中央区の文化・スポーツ資源を、区民が利用しやすいよう環境整備に取り組みます。

#### II. 共につながり安心して暮らせるまち

- 子育て世帯に占める核家族の割合が高いことから、身近な地域において子どもの健やかな成長を支え、安心して子どもを産み育てられる環境づくりが必要です。
- 持続可能な地域コミュニティ活動を支援し、互いに支え合い、助け合い、誰もが安心していきいきと暮らせるまちを作ることが必要です。
- ✓ 安心して子どもを産み・育てることができるよう、身近な地域で見守り、子育てする取組みの支援や、子育てについての学習機会の提供など子育て中の親などの不安や負担の軽減に取り組みます。
- ✓ 特定健診などの定期的な受診を勧め生活習慣病の早期発見、早期治療につなげます。また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう、関係機関などと協働し、地域で支える活動に取り組みます。

#### III. 水と緑に囲まれた自然と都市が共存するまち

- 鳥屋野潟や日本海などの豊かな水辺や緑豊かな自然に恵まれていることから、この環境を活かした賑わいの創出や魅力を高める取組が必要です。
- ✓ 身近に水を感じ、気軽に水に親しめるよう、水辺の利活用を進めるとともに、美しい水辺環境を守るため、環境美化活動や啓発活動に取り組みます。
- ✓ 約5kmにわたって広がるクロマツ林を有する西海岸公園において、海岸林再生など緑豊かな環境整備に取り組みます。

#### IV. 歴史と文化を受け継ぎ発展するまち

- これまで培ってきた歴史文化を受け継ぐとともに、様々な文化や産業が融合した未来につながるまちを目指す取組が必要です。
- ✓ 地域の歴史や文化にふれあい、学ぶことのできる機会の提供や、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に取り組みます。
- ✓ 伝統産業の育成・支援のため、中央区の伝統的工芸品や発酵食品、古町花街を彩る古町芸妓や料亭文化のPRに取り組みます。

## 中央区区ビジョンまちづくり計画素案に対して、これまでにいただいた自治協議会委員意見一覧

資料 議1-3

○令和4年8月より、中央区自治協議会各部会において、素案の案を複数回にわたり提示させていただいた際に頂戴したご意見の一覧です。

○該当箇所（行数や記載箇所など）や修正案などは、それぞれの時点で提示した案に対するものであり、これらのご意見などを踏まえながら現在の案を作成しています。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なお意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
1	1回目	区の特徴	区内に日本海、信濃川、烏屋野潟という全国的に見ても比類のない水辺空間を有する。	とても重要なことと思うので、区の特徴のどこかに入れてほしい
2	1回目	区の特徴、下段 新潟の顔として～	「新潟」の繰り返しが気になるので、「数多く立地しています。」がよいと思う。	
3	1回目	区の概要 中央区の概要	全く同じ文が記載されている部分があるので、どちらかを削除してはいかがでしょうか。	
4	1回目	交通 海路では佐渡航路があり	日本海フェリーも入れた方がよいのではないでは。	北海道に行くとき日本海フェリーを使う人が結構います。
5	1回目	目指す区のすがた	【賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち】 賑わいとにぎわいを使い分けるなら、その理由を明確にすべき P16も同様	
6	1回目	自転車や公共交通で移動しやすい環境の整備をすすめ…	JR、バス、デマンド交通など各種モビリティを「連携」させ、早く、安く、快適な移動を実現させる、と具体的に記すべきで、MaaSの実現も明記すべきです。	パーク＆ライドも含め、公共交通は「連携」が大事だからです。
7	1回目	目指す区の姿 追加してください。	【区民がスポーツや学習、趣味等で生活をより豊かにしたくなる街】	個人が積極的に人生を充実させたいような街という、個人の意思目線からの姿を加えても良いと思います。
8	1回目	烏屋野潟周辺や（中略）保全しながら利活用を図り、自然の豊かさを感じられる憩いのあるまちを目指します。	自然の豊かさを感じられる憩いのあるまちとしての魅力を国内外に発信し、観光客、移住希望者を呼び込んで人口減少傾向を反転させます。	新潟市ならではの魅力を「保全」しつつ、もっと武器として活用すべき。
9	1回目	各区のすがた	数値の羅列だけではなく、棒グラフなどに加工して、各区の規模間を「見える化」して、特徴を理解しやすい工夫をしてください。	数字の羅列では理解が進まないため、子供で一目で理解できるレベルのグラフ化することで、人口規模毎の予算付けの差が生じることなどの理解が進むと思うから。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
10	1回目	中央区のすがた	歴史の部分で中央区の拡大図を入れると理解が広まりやすい。	実際どこまでが中央区なのか、私自身も理解していない。合併の経緯が記載されているので破線で示すとわかりやすいかも。
11	1回目	歴史 1622～44（寛永年間）年	遺跡や竪穴式住居跡、さらには親鸞聖人、順徳上皇の史跡もあるので、その辺りも盛り込んだ方が良いでしょう。	これだと江戸時代にいきなり中央区が出来たように感じます。
12	1回目	1768（明和5）年	涌井藤四郎を明記してください。	白山公園に顕彰碑があり、他の項目には実名が出ているため。
13	1回目	4.人口 5.土地利用 「8区の中で～」の記載について	削除した方がよいと思う。	記載するのであれば、だからどうなのかといった説明（方針）が必要なのではないのでしょうか。
14	1回目	人口 中央区年齢階層別人口	「区内の一部には、市全体の中で……」とい表記の部分についても色分けした地図を示すべき	地域別の課題が「見える化」でき、課題が共有され、課題解決に向けた共通項なども浮き彫りにされると予想する。
15	1回目	交通 ○区内には	新潟バイパスをもう少し前面に出し、栗木道路も完成が近いとかの記載をしたらどうでしょうか。	新潟バイパスが日本でも有数の道路であるため。栗木道路が完成すれば都心への乗り入れが容易になるため。
16	1回目	交通 ○海路では	日本海フェリーも入れた方が良いでしょう。	北海道に行くとき日本海フェリーを使う人が結構います。
17	1回目	まちづくりの ●商店街が	「地域住民やコミュニティが」を「区民そして観光客やビジネス等で訪れる人が求める」に修正	商店街は全ての人のニーズに応えられなくてはならないからです。
18	1回目	2まちなか回遊 まちづくりの方針20行目 信濃川と万代橋から広がる都心エリア 「にいがた2km」	都心エリア（新潟駅周辺・万代・古町をつなぐ都心軸周辺）「にいがた2km」	「にいがた2km」の表現
19	1回目	5個目の● 8区のネットワーク強化～	削除した方がよいと思う。	現実離れしているようでイメージが湧きません。



NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
20	1回目	(JR在来線への言及が全く無い)	4つ目の○「バス路線は大きな転換期を迎えます」と「誰もが移動しやすい…」の間に「JR、バス、デマン交通など各種モビリティを「連携」させ、早く、安く、快適な移動を実現させる、と具体的に記すべきです。MaaSの実現も謳うべきです。	パーク&ライドも含め、公共交通は「連携」が大事だからです。
21	1回目	○の4つ目 3行目 現在～	2行目のラストに現在～をつなげる	3行目が（だけ）浮いている。
22	1回目	3都市機能 4つ目の● 誰もが移動しやすい交通環境	「交通環境」は「交通システム」が良いと思います。	前の文書から（意味） これまでのバス路線から利便性のある新しいバス路線に代わるという意味でシステムが良いと思います。
23	1回目	3都市機能6行目 鉄道を横断する交通の混雑などの問題があります。	この文言の後に「南北縦断道路の整備を進めるとともに」を追加記入してはと思います。	南北分断の課題解決も明記しても良いと思われま。
24	1回目	語彙に説明を ウォークラブルな空間形成	語訳 居心地が良く歩きたくなるまち	
25	1回目	上から3つ目の○	「供用に向けた」という文言は、変更すべきでは。	駅直下のバスターミナルが来春開業することのこと。本計画が発表される時点で開業しているのであれば、変更したほうが良いと考える。
26	1回目	上から5つ目の○	「環日本海地域の拠点」という表現が古い。	他の文言に換言すべき。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
27	1回目	賑わいと活力あふれ訪れたいくなる拠点のまち	<p>従来から新潟市の賑わいの中心は古町十字路周辺であり、どちらかといえば新潟駅周辺は中心とは見られませんでした。新潟駅の改修工事が進むとともに、天神尾&amp;米山踏切がなくなり、今後駅舎の下を路線バスが走り、東西の跨線橋も取り払われることにより、駅の南北間の交通も容易になり、車の流れ、人の流れも大きく変わると考えられます。いまいち発展しきれなかった「駅南」地区が万代地区とともに賑わいの中心になると予想できるのではないのでしょうか。さらにこの「駅南」地区に大型駐車場の建設が計画に含まれば、いっそうの郊外からの集客が見込めると考えます。</p> <p>かつての新潟市の行政の中心であり、賑わいの中心であった古町十字路周辺は、大和デパートをはじめとしてラフォーレ原宿、そして三越も去っていきました。様々の原因があるのですが、駐車場問題と周辺世帯の高齢化でこの地域での大型店の経営は無理だと判断されたのだと思います。区民としてこの地域が寂れていくのを見ているのは残念ですが、当該計画の中では、この地域を活性化しようとするよりも、新潟市の歴史、文化地区として整備してしていくべきかと思えます。</p>	
28	1回目	ウォークブル モビリティマネジメント DX,ICT,AI,IOT,5G など	横文字アルファベットの使用が多く感じられ、もう少し理解しやすい標記が出来ればよいと思います。	同左
29	1回目	3都市機能6行目 <新潟を堪能しながら健康・・・>	この項目の中に「レンタル自転車の普及」も触れてもいいと思います。	実施計画の内容？
30	1回目	語彙に説明を モビリティ・マネジメント	語訳 過度に自動車に頼る状況から交通手段や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に活用する。	

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
31	1回目	交流人口 新潟港・・・万代島地区において、さらなる賑わい創出と活性化に向けた取り組みが必要です。	新潟港・・・万代島地区において、 <u>新鮮な魚介類の水揚げを伸ばしつつ、さらなる賑わい創出と活性化に向けた取り組みが必要です。</u>	産業部門で万代島について同じような項目があったらそちらで良いのですが、あまりにも観光が前面に出すぎて漁港として成り立たないようなハード面の改良により年々全国から新潟港に水揚げする船が減少しているきらいがありますので
32	1回目	公共交通の利用促進に向けて、	公共交通の利用促進と <u>まちなか活性化を連携させ、市民の健康増進と豊かさの実現、まちなか活性化と交通事故削減に努め、マイカーに頼らなくても移動が完結するまちを目指します。</u>	公共交通は手段であり、まちづくりの視点が欠落しては本質を見誤ります。
33	1回目	中央区の文化 ●中央区の文化・	資源を上手く流用し、常に区民が文化的活動やスポーツができるような環境を構築する。	施設を最大限に利用できるようにするためです。財産経営促進計画の根幹です。
34	1回目	鳥屋野潟	鳥屋野潟の整備について 鳥屋野潟は新潟市民・中央区民にとって身近に水辺を楽しめる場所として鳥屋野潟公園を中心としていつも賑わっていますが、残念ながら北側は整備が進んでいるようには見えません。当該計画の中には北側の整備計画を提示してもらいたいと思います。	
35	1回目	「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して (中略) イベントと連携して	次の文言を追加 「万代、古町地区の一部をマンガ・アニメストリートとして整備し、常時国内外から人を呼び込むことができるまちなみを整備します」	イベント「だけに」頼らず、常時人を呼び込むことが重要。イベントは「カンフル剤」。
36	1回目	上から2行目	「新しい価値を創造するための取組を進めていきます。」の具体的に意図するところが変わりません。	何のために、誰に向けた新しい価値なのかなどもう少し具体的な事例を加筆するとわかりやすいのでは。
37	1回目	まちづくりの方針 地域コーディネーター対象の研修会の開催	いまでも地域コーディネーター対象の研修という名目のものはある。ただ内容は必要ないことばかりなので、税金を使うに見合う内容にしてほしいと思うので、開催ではなく見直しが良いと思う。または削除。	地域教育コーディネーター自体の認知度が低いので、市民に政策の重要性がわからないと思う。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
38	1回目	下から4行目 協働 地域住民が主体となり様々な取組を行う・・・を支援します	地域住民に理解を求められる様々な取組を行う・・・を支援します。	地域住民主体と記載すると一部の個人重視役員決議が住民の総意になるととらえるコミ協があります。新潟市ハンドブックの通り自治・町内会を中心にした団体の代表が収めるものそしてなによりも地域民に理解を求められるのが本筋と思います。
39	1回目	<安心して> 追加をお願いします。 <遮断が無い福祉の実効>	<遮断が無い福祉の実効> ●全ての人が誕生してから亡くなるまで貧困、障害等、様々な困難があっても人生を全うできるよう現状の福祉政策を確認見直し、不足部分を充実させていきます。	人生全体に福祉が行き渡るかの確認と、不足部分を無くしていくためです。
40	1回目	○のラスト ～必要です。 ○の1つ目 ～必要があります。 ○の4つ目 ～必要です ○のラスト ～必要があります。	文末は、いずれかに統一する。 必要です 又は 必要があります。	他のページにもこの表現が多いが他も統一してください。
41	1回目	○の3つ目 ～高まっています。 ○の4つ目	3つ目の○に4つ目の○の内容をつなげる ○～高まっています。計画降雨～	文末が3つ目の○だけが内容が異なっている
42	1回目	防犯対策の取組 2つ目の● 地域住民や警察、行政機関が協働して防犯力の高い地域社会をつくっていくとともに・・・	地域住民や警察、行政機関が協働して防犯力の高い地域社会をつくるため支援しそして・・・	防犯力の高い地域社会はその抑止力があるかないかによると思います。有効な手段は防犯カメラの設置かと思います。今までのように設置費用の充実な支援を願います
43	1回目	追加 ●管理不全な の下段	●居宅及び店舗、事業所等の周辺の清掃や除草を日常的に実施しましょう。	皆さんが家の周りや職場である事業所の周辺を毎日少しで良いからゴミ拾いと草取りをすればたちまち中央区が日本一綺麗になります。
44	1回目	1 水辺 現状/特性と課題 3つ目の○ 「有しており、います」	「有しております。」又は「有しています」では。	文書のつながりが不明

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
45	1回目	1水辺 現状／特性と課題 3つ目の○ 「有しており、います」	・・・鳥屋野潟を有しております。	、と「い」がいない
46	1回目	3つ目の○の文書	「・・・鳥屋野潟を有しており、います。」	
47	1回目	1水辺 「現状／特性と課題」 ○文章の移動	4番目の○文章を2番目に 7番目の○文章を4番目に	文章を移動することにより中央区の水辺の現況、鳥屋野潟の現況と課題、日本海との接点、となると思います。
48	1回目	1水辺 3つ目の○	文章の挿入 ○中央区は市街地に隣接し、～有しています。 <u>【都心にある特徴を生かすため】</u> 鳥屋野潟の環境保全に取り組むとともに <u>【かつてのように(昭和30年代)】</u> 豊かな水辺の～	具体的な試み、社会実験などを記した方がよいと思う。
49	1回目	4つ目の○	文章の挿入 ○中央区は「みなとまち新潟」の～こうした特徴を生かした取り組みを進めること <u>【ためにより具体的試み、社会実験など】</u> が必要です。	具体的な試み、社会実験などを記した方がよいと思う。
50	1回目	4つ目の○ 中央区は「みなとまち新潟」の(中略) 特徴を生かした取組を進めることが必要です。	横浜、神戸に劣らない「みなとまち」のブランドを確立し、同時に横浜、神戸には無い独自の魅力を確立して「オンリーワン」を目指すことが必要です。	ブランド力の向上と独自性を追求しなければ中央区そして新潟市は埋没します。
51	1回目	<美しい水辺があるまちづくり> 1つ目の●	文章挿入 ●鳥屋野潟や海岸での清掃活動 <u>【や学校の教育利用、体験教育旅行の利用】</u> について積極的に～	まちづくりのためには、清掃活動のみでないことを記してはどうか。
52	1回目	<水辺に> 追加をお願いします。	「●鳥屋野潟の整備及び利用促進のため鳥屋野潟自体の利用区分(ゾーン割り)や築堤に合わせ、桜並木の植樹計画等を推進します。」等の文章を追加してください。	潟自体の計画が無いため、これを具体的に表現する必要があります。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
53	1回目	1つ目の● 水辺の利活用を推進するとともに、新たな魅力づくりと賑わいの創出を図り、大切な水辺環境を次世代に引き継いでいきます。	引き継ぐと同時に自然の豊かさを感じられる憩いのあるまちとしての魅力を国内外に発信し、観光客、移住希望者を呼び込んで人口減少傾向を反転させます。	6ページと同じ。新潟市ならではの魅力を「保全」しつつ、もっと武器として活用すべき。
54	1回目	まちづくりの方針 水辺に親しめる環境の整備	萬代橋周辺整備に加え、上流の橋から見渡せる信濃川・土手の桜並木・弥彦山・角田山の景観の保持。	新潟らしい景観だと思います。後々のまちづくりのためにも守り継いでいく、失いたくない風景の一つです。
55	1回目	「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して（中略）イベントと連携して	次の文言を追加 「万代、古町地区の一部をマンガ・アニメストリートとして整備し、常時国内外から人を呼び込むことができるまちなみを整備します」	20ページと同じ。
56	1回目	【まちづくりの方針】「●区内における農産物の」下行に追加をお願いします。	「米からの更なる加工製品の開発、輸出、消費拡大を図り、水田が広がり白鳥が飛来する豊かな越後平野を維持します。」等の文章を追加してください。	米の消費が縮小しないような政策が必要です。
57	1回目	3行目、4行目 下から4行目 花街 古町芸妓 古町花街	花街(かがい) 古町芸妓(ふるまちげいぎ) 古町花街(ふるまちかがい)	下町がしもまちと記載されていますまた行形亭(いきなりや)のようにふりがなをつけたらいかがでしょうか ちなみに関東から来られた方は花街をはなまち芸妓をげいこという方がおられますので新潟の言葉の特色を生かせたらよいかと思います。
58	1回目	発酵食品 新潟漆器 古町芸妓と料亭文化	次の文言を追加 「発酵食品・新潟漆器・古町芸妓と料亭文化の魅力をコラボさせ、相乗効果を上げられるよう努めます」	バラバラに発信しても効果は期待できないからです。
59	1回目	魅力や価値を高めながら後世に継承できるよう保全に取り組むとともに、( ) 楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。	( )の部分に追加。 この地区はレトロ、この地区はマンガ・アニメといった明確なコンセプトを元に景観の統一と魅力あるまちづくりを行政だけでなく市民、業界と連携して強力で推し進め	文言がやや抽象的なので、より具体的かつイメージしやすい文言を加えました。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
60	1回目		<p>中央区区ビジョン基本方針の区の特徴にも見られるように、「新潟の中心市街地」「新潟駅をはさんで南北に広がる商業集積区域」「みなとまち新潟の歴史・文化を継承している地域」「市役所や高等学校などが立地する地区」「国の期間や県庁などの広域行政施設が集積する地域」「スポーツ施設が集約されている地域」「文化・芸術などの広域集客施設」「新興住宅地で人口増加が進んでいる地域」様々な顔を持つ地域が存在しています。</p> <p>実施計画にはそれぞれの地域特性を生かしたまちづくりも考えていただきたい。</p> <p>また、雇用面、税収アップを図るためにも企業誘致の施策も考慮していただきたい。</p>	

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
61	1回目			
62	1回目	にいがた2km	都心部を強化したいとする「にいがた2km」は目玉政策です。もっと前面に押し出して、取り組む施策をしっかりと明示していくことが大切と思います。	
63	1回目		全体的には卒なくかなり網羅されていて、どのページとか該当箇所の修正案等はありません。文章的には隙の無い書き方になっていると思います。しかし、逆に本当にこれ全部具体的に何をやるのか？全部できるのか？どの項目もどこまでどの程度でやれば達成なのか？色々突っ込みたくなる内容になっている。あくまでビジョンと言ってしまうえばそれまでですが。網羅はしているがメリハリ、優先順、選択と集中が余り感じられない。中央区としてもっと突っ込んだ表現なり主張があって良いのではと感じます。	
64	1回目		この計画素案は、主に中央区の現状と課題をそのままの説明したものであり、近未来を見据えながら今後8年という限られた期間で、どの課題からどのように取り組んで成果を出そうと考えているのが見えてきません。本計画素案が各部門の担当者が作成したものだとなれば、これが限界とも思いますが…  (提案) 内部の人間だけでは、どうしても発想に限界があるため、計画があまり煮詰まらない段階で都市計画専門のシンクタンクにソフト&ハードの両面で依頼してみたらどうかと思います。	
65	1回目		それぞれの課題が少しでも改善されれば、素晴らしい中央区になると思う。	



NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
66	1回目	自治会・町内会	自治会・町内会の役割について 当該計画では、自治会・町内会のへ大きく期待されていますが、現実問題として構成員の老齢化とボランティア精神の弱化のため、各種協力へのパワーが減少しています。この辺を理解して、行政としても自治会・町内会へもテコ入れに協力をお願いします。	
67	2回目	<交通> ○海路では、佐渡航路があり～	○海路では、佐渡航路や北海道航路があり	日本海フェリーは欠かせない
68	2回目	計画体系図	大分類・中分類と記載されているが、分けることで見やすくなるが、伝わりにくくなるのではないかと。2つなどシンプルにした方がわかりやすいのではないかと。	
69	2回目	〈まちなかの回遊性を活かした賑わい創出〉	次の文言を追加してください。 「看板、サイン、ピクトグラムを増やし、初めて訪れる方も迷わず回遊できる環境整備に努め、観光客に親切なまちを実現し、初めて訪れる方がリピーターになってもらえるように改善します。」	今の市内は余りにも看板、サインが不足していて、「分かる人にしか分からない」不親切な状況です。「市外から訪れた人の視線」で解決してほしいのです。
70	2回目	〈交通基盤の〉強化	次の文言を追加してください。 「公共交通の連携とITC活用で『にいがたMaaS』の実現に努め、公共交通を利用しやすい環境整備を促進します。」 (MaaSについては用語解説を付記)	初校に対する意見でははねられてしまいましたが、これからの公共交通を語る上で「MaaS」はやはり外せないと考えました。

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
71	2回目	● 8つめ、学校と地域を結ぶ地域教育コーディネーターを対象とした研修会の開催	削除もしくは「地域教育コーディネーターの労働環境の改善とスキルアップのための講座や研修受講の機会を作る」に修正希望	<p>① 計画の中で具体的な職種は地域教育コーディネーターだけなのが違和感がある。</p> <p>② ただでさえ、時間が足りずに半強制的に無給で時間外労働しているのに、必要のない内容の研修会が開催されていて本当に迷惑しています。その上さらに必要ない研修を開催されるのは嫌がらせとしか思えない。コーディネーター研修と言いながら、3年間もコミュニティスクールの研修ばかりやっているのもひどすぎます。違う組織です。計画に載っているから、むりやり研修をした実績が欲しいだけなのではないでしょうか？とかんぐってしまいます。正職員が受講できるような、スキルアップやメンタルヘルスのための研修や講座を受講できるようになるということならば意味が分かります。</p>
72	2回目		同じ言葉で異なる標記をするのであれば、その理由を明確にすべき (賑わい、にぎわい)	
73	2回目		せっかく作るのであれば多くの人に読んでもらいたいし、絵にかいたモチにならないようにしてもらいたい。 たくさんの人の意見を盛り込みながら作ってもらいたい。	
74	2回目		文章が多いので読みやすいように工夫してはどうか。	
75	2回目		分かりにくい言葉などは、本文中にカッコで説明文を入れてはどうか。	
76	2回目		現状についての記載があるが、都市化の進展や核家族化、就労形態の変化などライフスタイルの変化や価値観の多様化など、社会的背景について、より具体的に示したうえで、まちづくりの方針を示した方が良いのではないか。	

NO	回数	該当箇所 (行数や記載箇所など)	具体的なご意見と修正案	ご意見の理由 (簡潔で結構です)
77	2回目		区ビジョンまちづくり計画が区民を対象にするものであるのであれば、文章だけでなく絵や写真を多く使った方が良い。	
78	2回目	具体的な変更はありません  次回以降への意見です。	<p>総合計画で、新潟市全体の基本的な計画が記されていますから、次回以降のビジョンではそれぞれの区での独自の取組の表記だけで良いような気がします。今回も福祉分野に関しては余り特異性が無い一般的な事項の記載に留まっていました。</p> <p>例えば中央区なら次のような項目だけで良いような気がします。</p> <p>下町活性化 新潟2キロ 新潟駅の高架化による開発 上所駅の整備 鳥屋野潟及び周辺の整備 交通システムの変革 等々</p> <p>また、秋葉区ならこのような感じです。</p> <p>秋葉山の整備 鉄道の町のアピール 小須戸の歴史ある街並み整備 石油の世界発信 等々</p>	総合計画と区ビジョンがダブっているような感じのため。